

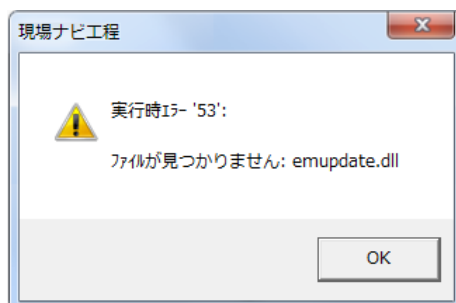
現場ナビ**工程**のよくあるご質問

◆起動時のエラー	5 件	P2
◆印刷	11 件	P4
◆編集・操作	37 件	P13
◆データファイル	3 件	P34
◆その他	4 件	P35

◆ 起動時のエラー

Q1. 起動時に「実行時エラー'53」または「Run-time error'53」と表示される

Q. 「現場ナビ工程」を起動した時に、「実行時エラー'53」：ファイルが見つかりません。emupdate.dllまたは「Run-time error '53」：File not found : emupdate.dll」というエラーが表示され、起動しません。



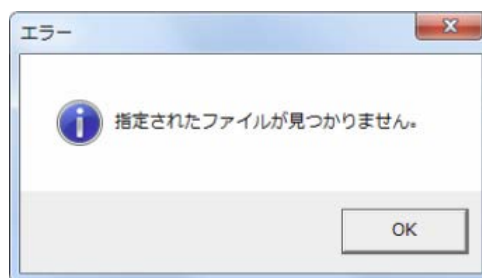
A. ライセンス管理プログラム「構造ソフト ライセンスマネージャ」がインストールされていないことが原因です。次の URL から「構造ソフト ライセンスマネージャ」のインストールファイル（setuphasp.exe）をダウンロードし、そのファイルを実行してインストールを行ってください。

https://www.kozosoft.co.jp/genba_navi/support/koutei_download.html

なお、大林組様、大林道路様、鹿島建設様、ダイダン様、戸田建設様、第一工業様、松尾建設様の場合は、社内のイントラネット等に掲載されている専用インストーラーを実行してください。

Q2. 起動時に「指定されたファイルが見つかりません。」と表示される

Q. 「現場ナビ工程」を起動した時に、「指定されたファイルが見つかりません。」というエラーが表示されます。[OK]ボタンを押すと「現場ナビ工程」の起動はできます。



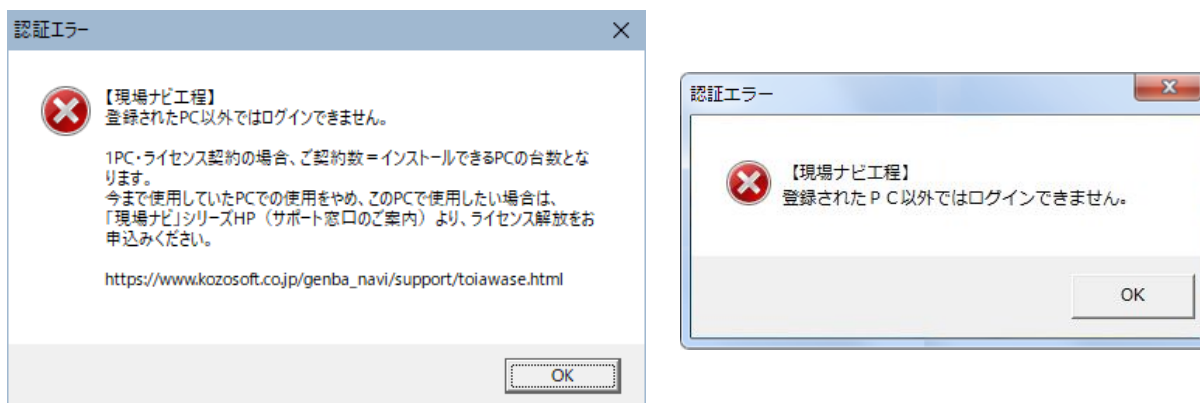
A. ライセンス管理プログラム「構造ソフト ライセンスマネージャ」がインストールされていない（誤ってアンインストールしてしまった）ことが原因です。次の URL から「構造ソフト ライセンスマネージャ」のインストールファイル（setuphasp.exe）をダウンロードし、そのファイルを実行してインストールを行ってください。

https://www.kozosoft.co.jp/genba_navi/support/koutei_download.html

なお、大林組様、大林道路様、鹿島建設様、ダイダン様、戸田建設様、第一工業様、松尾建設様の場合は、社内のイントラネット等に掲載されている専用インストーラーを実行してください。

Q3. 起動時に「登録された PC 以外ではログインできません。」と表示される

Q. 「現場ナビ工程」を起動した時に、「登録された PC 以外ではログインできません。」というエラーが表示され、起動しません。



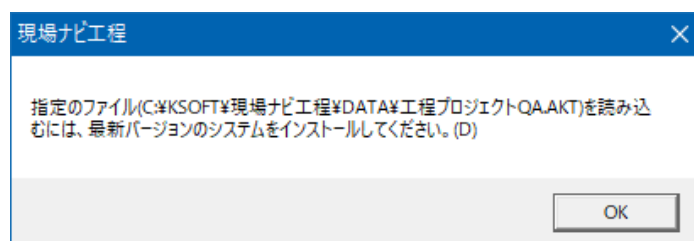
A. ご契約いただいているライセンスが 1PC・ライセンスの時に、契約数を超過してインストールを行った PC で表示されるエラーです。1PC・ライセンスとは、1 ライセンスを 1 台の特定の PC にインストールして使用するものをいいます。ご契約数 = インストールできる PC の台数となります。今まで使用していた PC での使用を止め別の PC でご使用したい場合は、弊社のサーバー設定において、登録済のライセンス情報を解放する必要があります。また、今まで使用していた PC で PC 名の変更を行った場合も、同様の手続きが必要となります。次の URL にある申込書（PDF）に記載して申し込みください。

https://www.kozosoft.co.jp/genba_navi/seihin/koutei/pdf/license_open_koutei.pdf

なお、1 つのライセンスで複数の PC にインストールを行い、ライセンスを共有したい場合（例えば 5 ライセンスで 20 台の PC にインストールしてライセンスの空き状況に応じて 5 台で同時使用する）は、ネットワークライセンスへの切り替えることで可能です。こちらは契約の変更が必要となりますので、構造ソフトの「現場ナビ工程」営業担当（TEL:03-5948-8450）までご相談ください。

Q4. 工程表ファイルを開いた時に「最新バージョンのシステムをインストールしてください。」と表示される

Q. 他の人が作成した工程表ファイル（拡張子 AKT）を開いた時に、「指定のファイル（パス名+ファイル名.AKT）を読み込むには、最新バージョンのシステムをインストールしてください。」というエラーが表示され、起動しません。



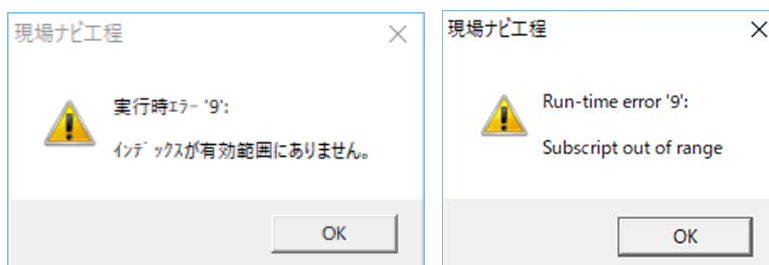
A. 最新バージョンの「現場ナビ工程」で作成された工程表ファイル（拡張子 AKT）を、古いバージョンの「現場ナビ工程」で開こうとしていることが原因です。次の URL から最新バージョンの「現場ナビ工程」のインストールファイル（setupgkt.exe）をダウンロードし、そのファイルを実行してインストールを行ってください。

https://www.kozosoft.co.jp/genba_navi/support/koutei_download.html

なお、大林組様、鹿島建設様、戸田建設様、第一工業様、ダイダン様、松尾建設様の場合は、社内のイントラネット等に掲載されている専用インストーラーを実行してください。

Q5. 起動時に「実行時エラー'9」または「Run-time error'9」と表示される

Q. 「現場ナビ工程」を起動した時に、「実行時エラー'9': インデックスが有効範囲にありません。」または「Run-time error'9': Subscript out of range」というエラーが表示され、起動しません。



A. 「現場ナビ工程」で各種の設定情報を自動的に保存しているファイル（ASOPT.DAT）が破損していることが原因です。PCの予期せぬシャットダウンやメモリの使用率が高くなったことによるハングアップ等が偶発的に発生したと考えられます。

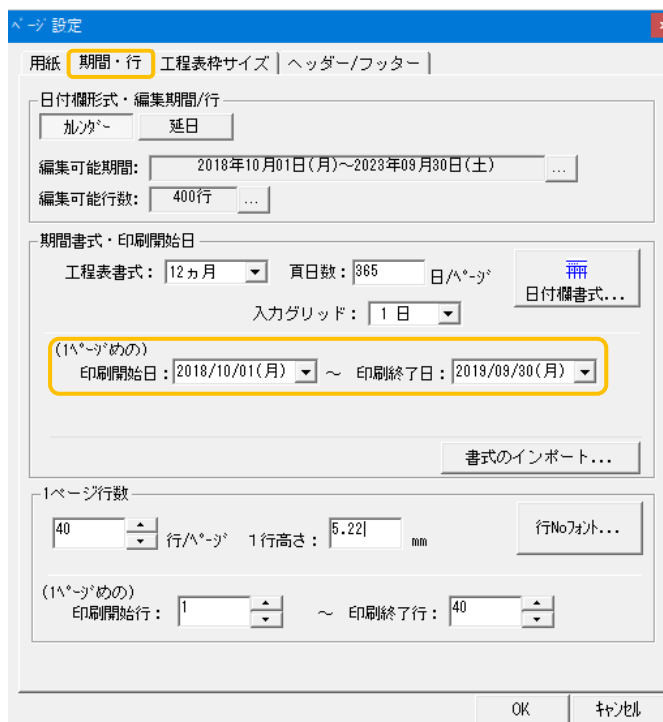
「エクスプローラ」を起動して、「現場ナビ工程」のインストールフォルダ（初期設定は C:¥Ksoft¥現場ナビ工程）（大林組様の場合は D:¥OHBAPPS¥Ksoft¥現場ナビ工程）の中にある ASOPT.DAT を削除してください。「現場ナビ工程」を再度起動すると、ASOPT.DAT が再作成され正常に起動することができます。

◆印刷

Q1. 一部の期間だけ印刷したい

Q. 長期間の工程表を作成しました。一部の期間だけ印刷することはできますか？

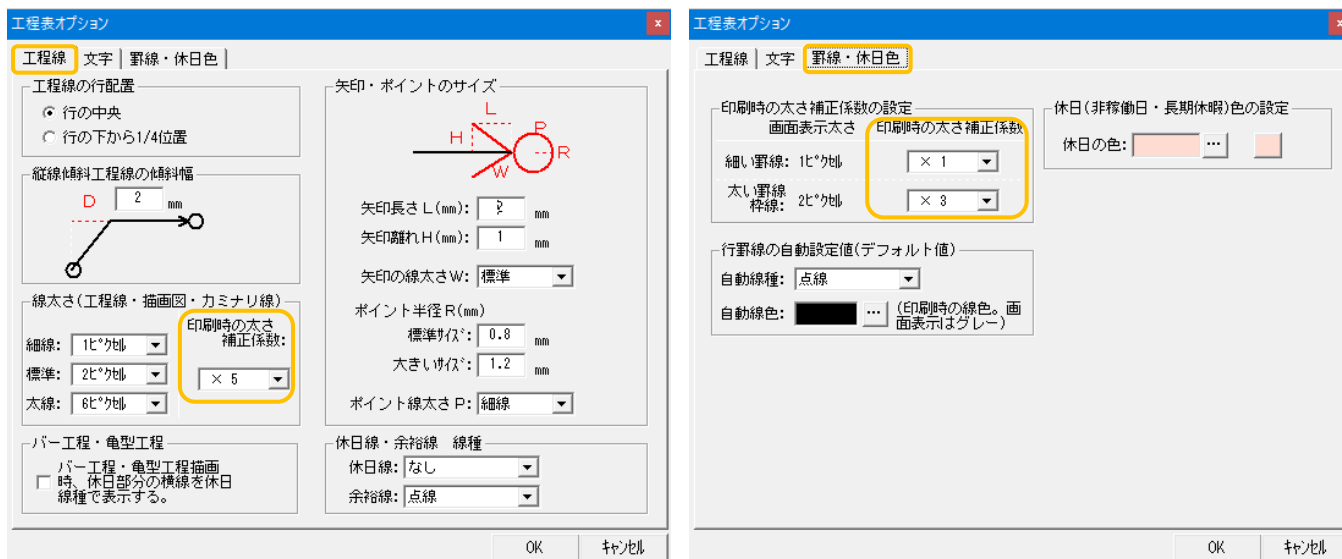
A. [ファイル]メニュー[ページ設定]を選択し、「ページ設定」画面を表示してください。「ページ設定」の[期間・行]タブの「印刷開始日」「印刷終了日」で変更することができます。



Q2. 印刷すると線が細くなってしまふ

Q. 工程線や罫線が印刷すると細くなってしまいます。

A. 画面の表示倍率が 100%以下の場合に線が若干太く表示される傾向にあるので、拡大して線がイメージ通りに表示されるか確認してください。拡大してイメージ通りに表示されているにも関わらず、印刷時に細くなってしまふ場合は、[オプション]メニューの[工程表オプション]を選択し、「工程表オプション」画面の[工程線]タブの「印刷時の太さ補正係数」と、[罫線・休日色]タブの「印刷時の太さ補正係数」を大きな値にして調整してください。



Q3. 印刷すると点線が実線になってしまふ

Q. 工程線や罫線が印刷すると実線になってしまいます。

A. 使用しているプリンターの問題が考えられます。一度、プリンタードライバー（Windows で使用するプリンターを制御するためのソフトウェア）を最新版にアップデートしてから試してください。プリンタードライバーのアップデート方法については、プリンターメーカーの説明書やホームページをご参照ください。

なお、プリンタードライバーとの相性や精度により、点線のピッチや実線の太さなどが異なってしまふことがあります。これは、弊社ソフトに限らず一般的に起こる内容で、通常はプリンタードライバーのアップデートで修正されますが、プリンタードライバーのアップデートをしても改善しない場合、または、アップデートの方法が分からない場合は、弊社でサポートできる範疇を超えておりますが、一度 PDF に出力してから印刷する方法で回避できる可能性があります。

「現場ナビ工程」で印刷プレビューを行い、画面上部の[PDF]ボタンを押してください。工程表が PDF ファイルになり、「Adobe Acrobat Reader」等の PDF 閲覧ソフトが起動しますので、そこから印刷してご確認ください。なお、一般的な PDF 変換ソフト（「Adobe Acrobat」等）をお持ちの場合、「現場ナビ工程」の印刷プレビューから[PDF]ボタンで PDF 出力するのではなく、お持ちの PDF 変換ソフト^(注)をご使用いただいても構いません。

また、弊社ソフトに限らず一般的な内容として、プリンタードライバーに解像度の設定がありましたら、そちらを下げることで回避できる場合もあります。

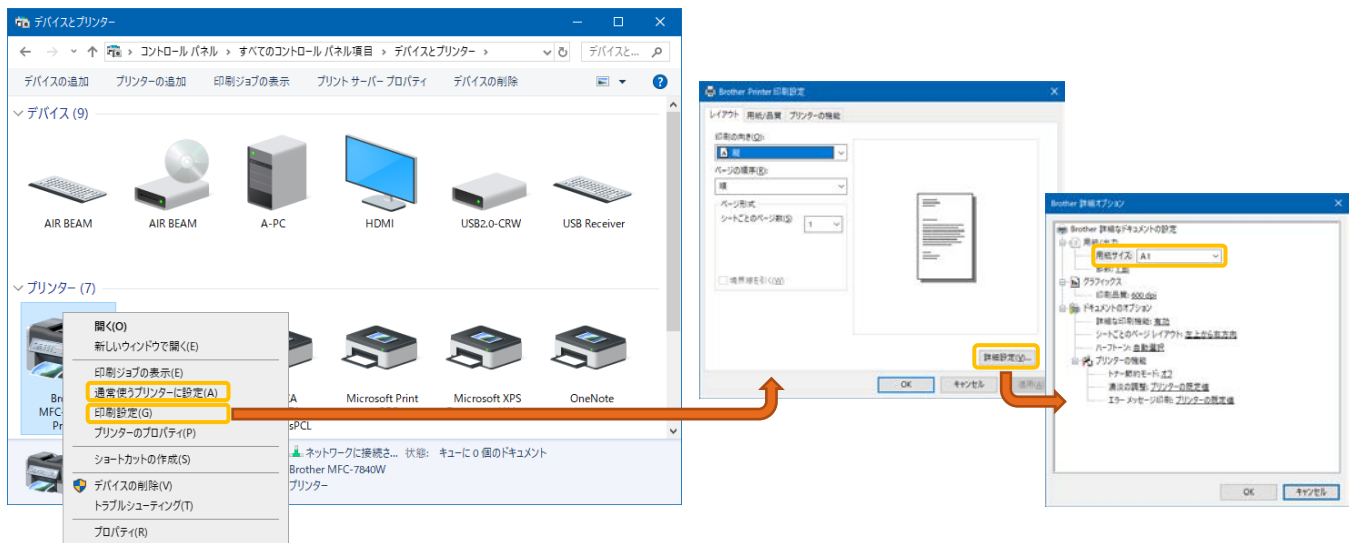
(注) Windows11/10 の場合、「Microsoft Print to PDF」という PDF 変換ソフトが標準でインストールされていますが、このソフトで作成した PDF が「Adobe Acrobat Reader」で開けない事例や、PDF 変換時に点線が実線になってしまう事例がありますので、他の PDF 変換ソフトをインストールすることを推奨しています。市販ソフトでは「Adobe Acrobat」が有名ですが、インターネットで検索するとフリーソフトの「CubePDF」等も見つかるかと思ひます。

Q4. A1 や A2 の用紙サイズに印刷したい

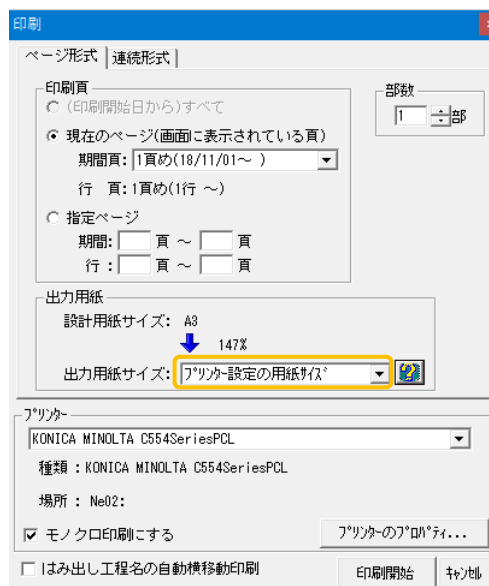
Q. A1 や A2 の用紙サイズに印刷したいのですが、「印刷」画面の出力用紙サイズに A3 より大きな用紙の選択肢がありません。

A. プリンター側で設定した用紙サイズに合わせて自動的に拡大縮小して印刷する機能がありますので、プリンター側（プリンタードライバー）で設定できる用紙サイズであれば、この機能を用いることで印刷することが可能です。

Windows の[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[デバイスとプリンター]で印刷に使うプリンターを選択し、マウスを右クリックしてメニューから[通常使うプリンターに設定]を選択します。次に、再度プリンターを選択し、マウスを右クリックしてメニューから[印刷設定]を選択します。プリンタードライバーの設定画面が表示されるので、希望の用紙サイズと向き（例：A1の横）に設定します。なお、プリンタードライバーでの用紙サイズと向きの設定は、プリンタードライバーにより名称や設定画面が異なります（以下の右側の2つの画面）ので、詳細は、プリンターメーカーのホームページ等をご参照ください。



プリンター側の設定が完了したら、「現場ナビ工程」で印刷する際に、「印刷」画面で出力用紙サイズを「プリンター設定の用紙サイズ」に設定して[印刷開始]ボタンを押してください。



Q5. 長尺ロール紙に印刷したい

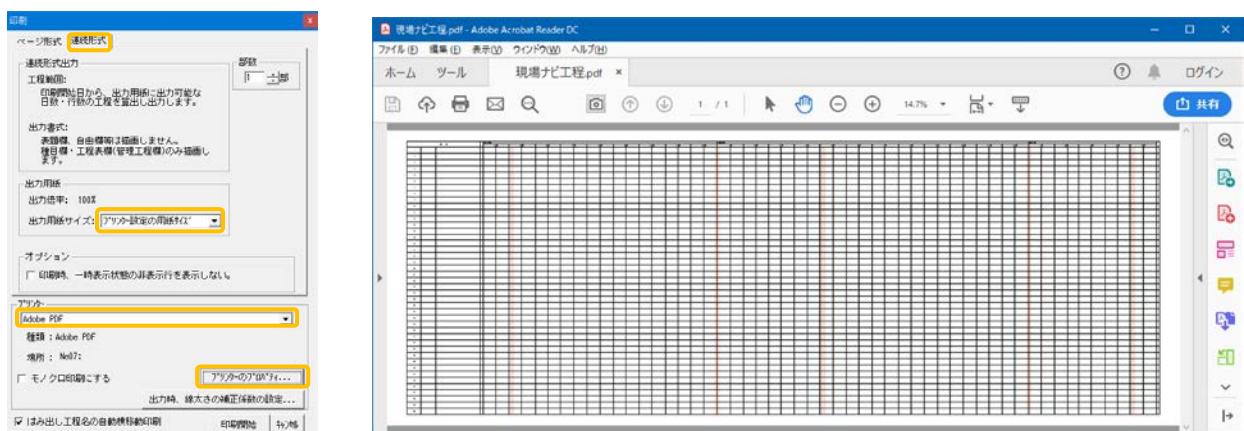
Q. プロッタの長尺ロール紙に印刷することはできますか？

A. 印刷時に[連続形式]タブを選択することで対応可能です。この場合、連続形式出力となり、表題欄や自由欄等は描画せず、印刷開始日から用紙サイズに納まる範囲まで印刷します。印刷プレビューで事前に印刷範囲を確認することができないため、PDF 変換ソフトを用いて、一度 PDF としてから印刷することをお勧めいたします。

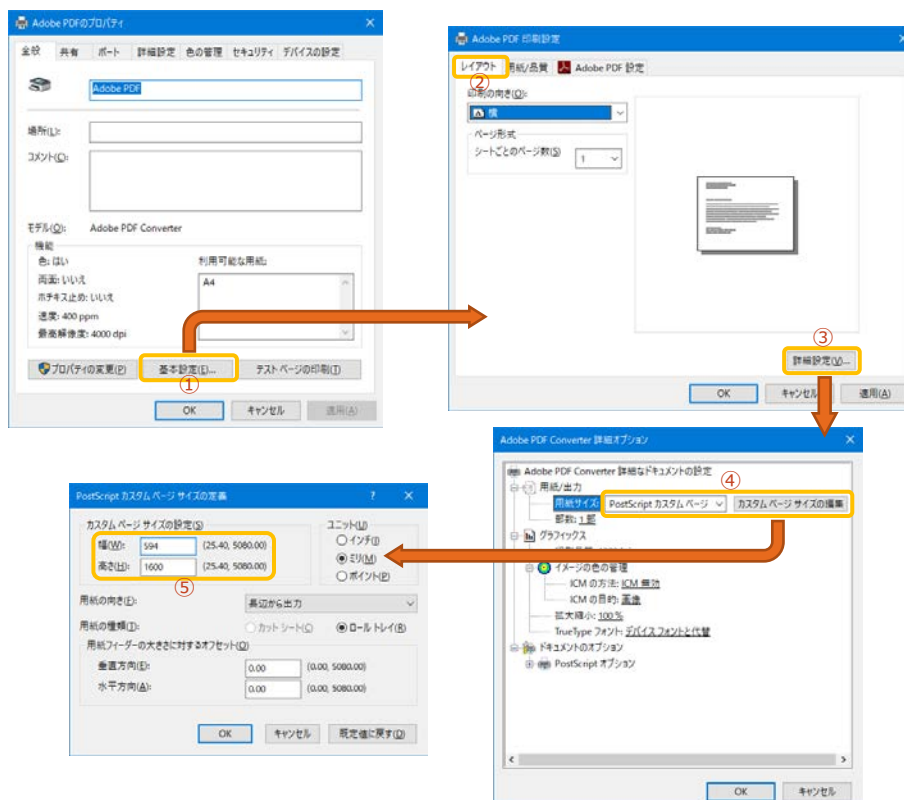
PDF 変換ソフトとしては、「Adobe Acrobat」が有名ですが、他のソフトやフリーソフトでも構いません（インターネットで検索すると「CubePDF」等が見つかるかと思いますが）ので、PDF 変換ソフトのインストールを行ってください。

インストールを行うと、「現場ナビ工程」の「印刷」画面で、以下の左側の画面のように、プリンターに PDF 変換ソフトが表示されるようになります。こちら（例：Adobe PDF）を選択し、出力用紙サイズは「プリンター設定の用紙サイズ」にしてください。

印刷開始前に[プリンターのプロパティ]ボタンを押し、PDF 変換ソフトで用紙サイズの設定が必要となります。設定後に[印刷開始]ボタンを押すと、PDF ファイルが作成されますので、「Adobe Acrobat Reader」を用いてプロッターへ印刷を行ってください。



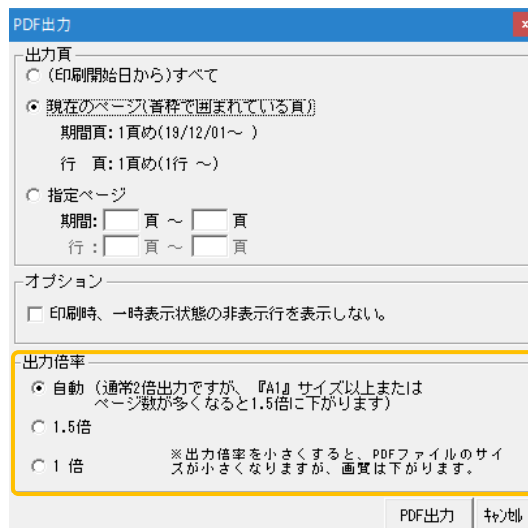
PDF 変換ソフトでの用紙サイズの設定については、弊社でサポートできる範囲ではありませんが、以下を参考にしてください。



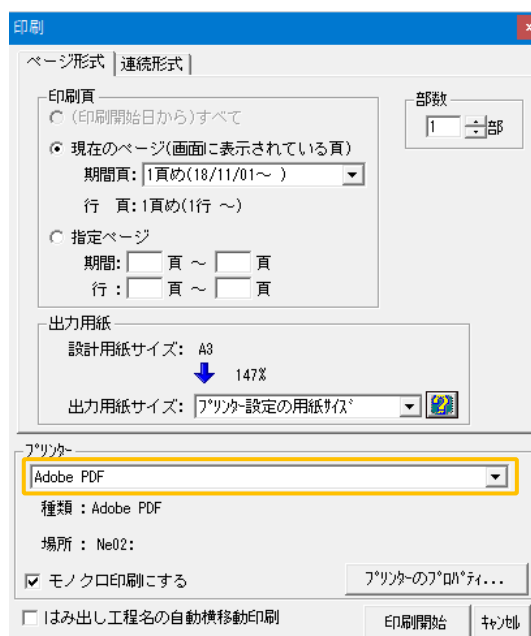
Q6. PDF 出力時の画質を上げたい

Q. 印刷プレビュー画面上部の[PDF]ボタンを押して PDF 出力した場合に画質が粗いのですが、画質を上げることはできますか？

A. [PDF]ボタンを押した後の画面の「出力倍率」で設定することが可能です。



ここを「自動」としても粗く感じる場合は、「現場ナビ工程」に内蔵されている PDF 出力機能ではなく、PDF 変換ソフトを用いることで回避してください。PDF 変換ソフトとしては、「Adobe Acrobat」が有名ですが、他のソフトやフリーソフトでも構いません（インターネットで検索すると「CubePDF」等が見つかるかと思いますが）ので、PDF 変換ソフト^(注)のインストールを行ってください。インストールを行うと、以下の画面のように「現場ナビ工程」の「印刷」画面でプリンターに PDF 変換ソフトが表示されるようになります。こちら（例：Adobe PDF）を選択して、印刷を行ってください。



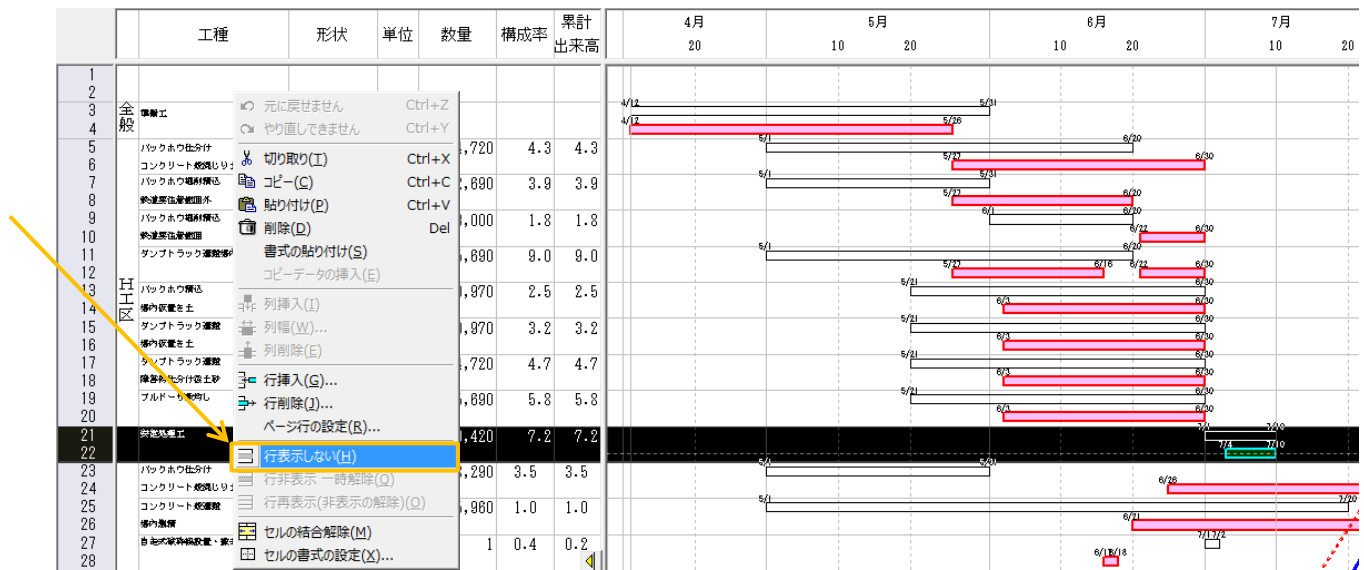
工程内に貼り付けている図面や印鑑等の画像が粗い場合は、PDF 変換ソフトを用いても改善しないことがあります。この場合は、貼り付けている図面や印鑑等の画像側の問題であるため、画像そのものを見直し、解像度の高いものを再度貼り付けてください。

(注) Windows11/10 の場合、「Microsoft Print to PDF」という PDF 変換ソフトが標準でインストールされていますが、このソフトで作成した PDF が「Adobe Acrobat Reader」で開けない事例や、点線が実線になってしまう事例がありますので、他の PDF 変換ソフトをインストールすることを推奨しています。

Q7. 一部の種目や行を印刷したくない

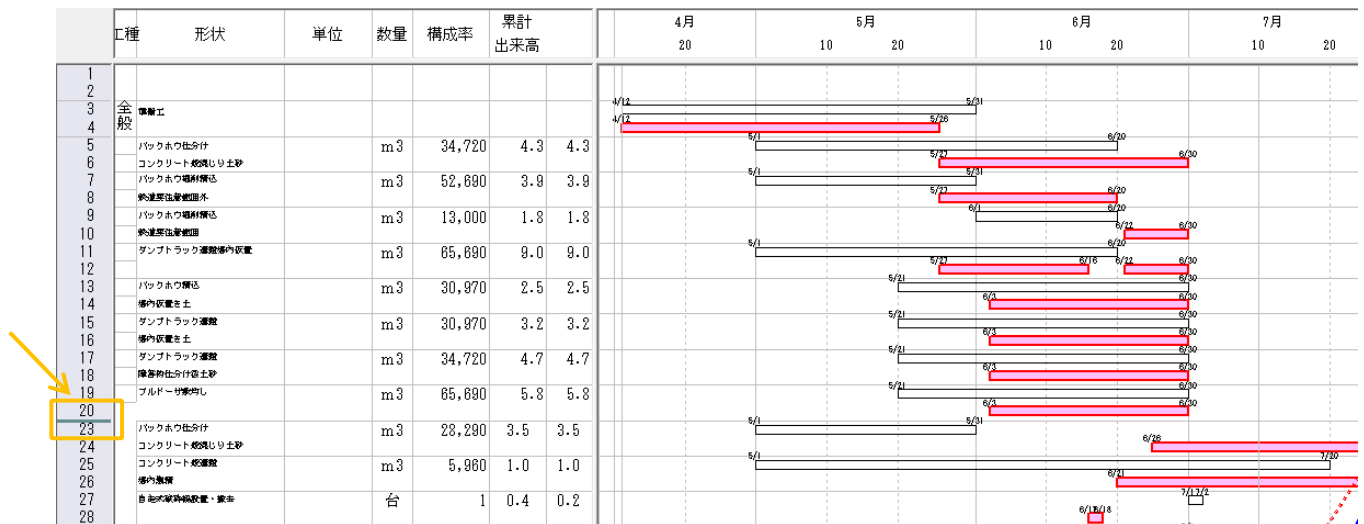
Q. 工程表を印刷する時に、一部の種目や行を印刷したくありません。例えば6ヶ月工程を作成し、前半の3ヶ月分を印刷する場合、後半3ヶ月のみで行う工事の種目や行も印刷されるため、工程線が存在しない行が印刷されてしまうためです。このような場合に、種目や行を削除しないで対応する方法はありますか？

A. 種目や行を非表示にする機能で対応できます。非表示にしたい行番号または種目のセルをクリックして選択し、右クリックのメニューから「行表示しない」を選択すると、その種目と行が非表示となります。非表示にしたい行が複数行ある場合は、キーボードの[Shift]キーを押しながら開始位置と終了位置をクリックして範囲選択することも可能です。



工種	形状	単位	数量	構成率	累計 出来高
1					
2					
3	全般				
4	職種				
5	バックホウ仕分け		7,200	4.3	4.3
6	コンクリート既設しり		8,890	3.9	3.9
7	バックホウ埋戻し		13,000	1.8	1.8
8	砂運送圧入機埋戻		8,890	9.0	9.0
9	バックホウ埋戻し		9,970	2.5	2.5
10	砂運送圧入機埋戻		9,970	3.2	3.2
11	ダンプロック運送機埋戻		7,200	4.7	4.7
12	バックホウ埋戻		8,890	5.8	5.8
13	橋内仮置き土		4,420	7.2	7.2
14	バックホウ埋戻		2,290	3.5	3.5
15	ダンプロック運送機埋戻		9,980	1.0	1.0
16	橋内仮置き土		1	0.4	0.2
17	ダンプロック運送機埋戻				
18	埋戻し仕分け土砂				
19	ブルドーザー機押し				
20	砂運送機埋戻				
21	バックホウ仕分け				
22	コンクリート既設しり				
23	コンクリート既設機				
24	橋内仮置き土				
25	砂運送機埋戻				
26	バックホウ埋戻				
27	ブルドーザー機押し				
28	砂運送機埋戻				

非表示となった箇所は、行番号が不連続となり、番号間の境目に太い線が表示されます。境目の線をダブルクリックすることで表示の状態に戻すこと（一時解除）ができ、再度非表示にしたい場合も行番号をダブルクリックすることで可能となっています。

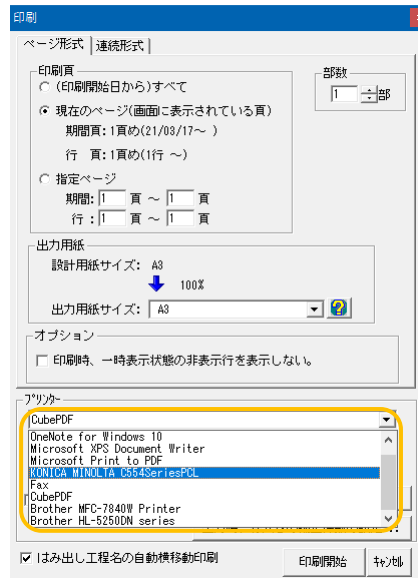


工種	形状	単位	数量	構成率	累計 出来高
1					
2					
3	全般				
4	職種				
5	バックホウ仕分け	m ³	34,720	4.3	4.3
6	コンクリート既設しり土砂	m ³	52,890	3.9	3.9
7	バックホウ埋戻し	m ³	13,000	1.8	1.8
8	砂運送圧入機埋戻	m ³	85,890	9.0	9.0
9	バックホウ埋戻し	m ³	30,970	2.5	2.5
10	砂運送圧入機埋戻	m ³	30,970	3.2	3.2
11	ダンプロック運送機埋戻	m ³	34,720	4.7	4.7
12	バックホウ埋戻	m ³	85,890	5.8	5.8
13	橋内仮置き土	m ³	4,420	7.2	7.2
14	バックホウ埋戻	m ³	28,290	3.5	3.5
15	ダンプロック運送機埋戻	m ³	9,980	1.0	1.0
16	橋内仮置き土	m ³	5,980	1.0	1.0
17	ダンプロック運送機埋戻	m ³	1	0.4	0.2
18	埋戻し仕分け土砂				
19	ブルドーザー機押し				
20	砂運送機埋戻				
21	バックホウ仕分け				
22	コンクリート既設しり土砂				
23	コンクリート既設機				
24	橋内仮置き土				
25	砂運送機埋戻				
26	バックホウ埋戻				
27	ブルドーザー機押し				
28	砂運送機埋戻				

非表示として印刷を行い、印刷が終わったら表示の状態に戻す運用を行ってください。

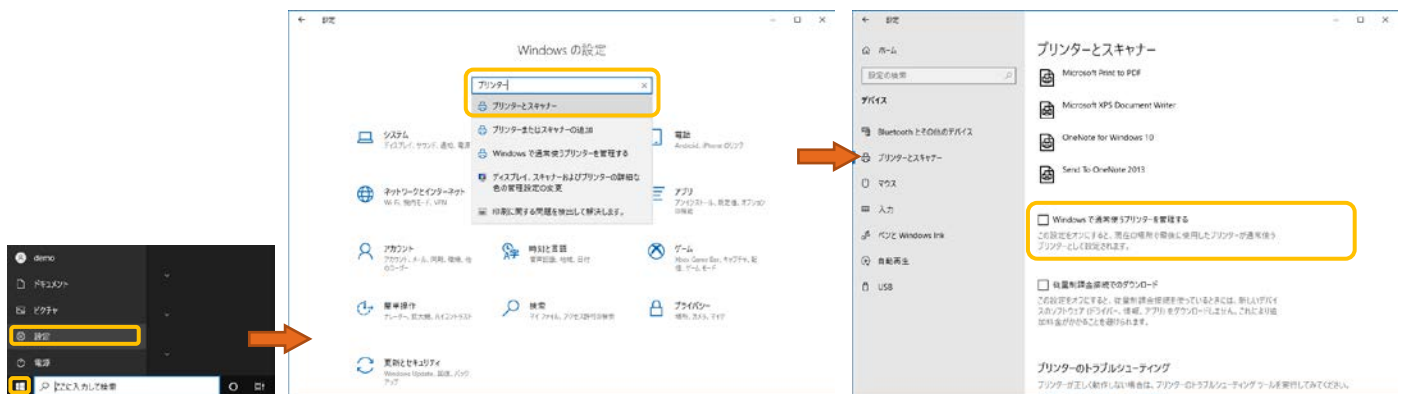
Q8. 印刷時にプリンターを変更したら、通常使うプリンターも変更されてしまう

Q. 複数のプリンタを使用している環境で、「現場ナビ工程」から印刷を行う時に以下の画面でプリンターを変更したところ、Windows の通常使うプリンターの設定も一緒に変更されてしまいました。「現場ナビ工程」でのプリンターの変更はその時のみとし、他のソフトでは今までのプリンターの設定のままとすることはできますか？



A. ご指摘の動作は「現場ナビ工程」が行っているものではなく、Windows の設定による動作となります。Windows 自体の操作方法は弊社でのサポート対象外となりますが、以下を参考にしてください。

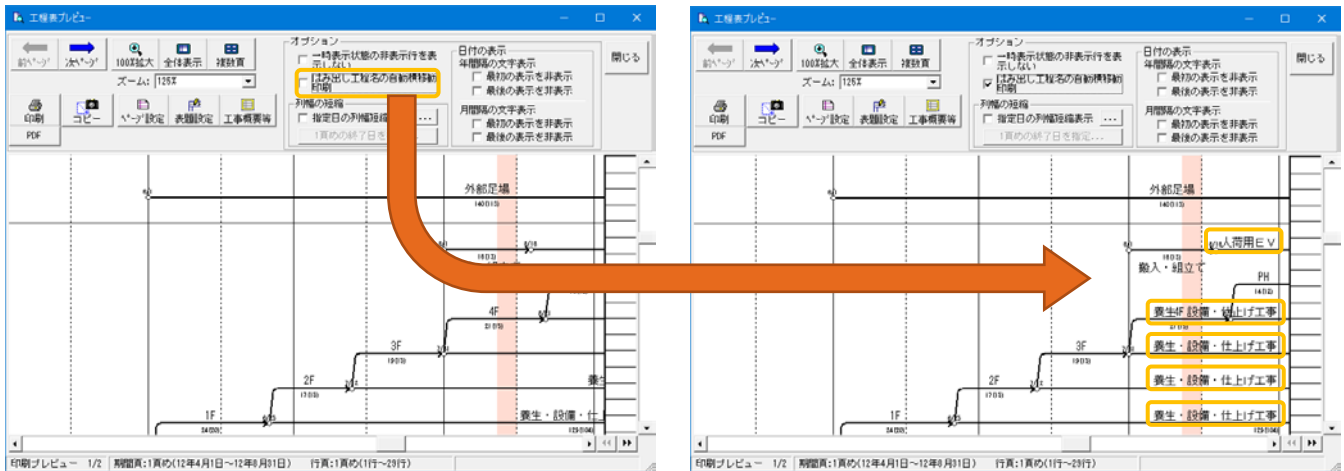
Windows の[スタート (旗のマーク)]ボタン-[設定]を選択し、「Windows の設定」画面が表示されたら、画面中央上部の「設定の検索」に「プリンター」と入力します。検索結果がすぐ下に表示されるので、「プリンターとスキャナー」を選択してください。「プリンターとスキャナー」の設定画面が表示されるので下にスクロールし、「Windows で通常使うプリンターを管理する」のチェックボックスを OFF にしてください。このチェックボックスの ON/OFF がご指摘の動作に繋がっています。



Q9. 複数ページにまたがる工程の工程名が印刷時に切れてしまう

Q. 複数ページにまたがる工程があった場合に、工程名が印刷時に切れてしまったり、表示されない場合があります。工程名の位置を移動させないで、工程名が見えるように印刷する方法はありますか？

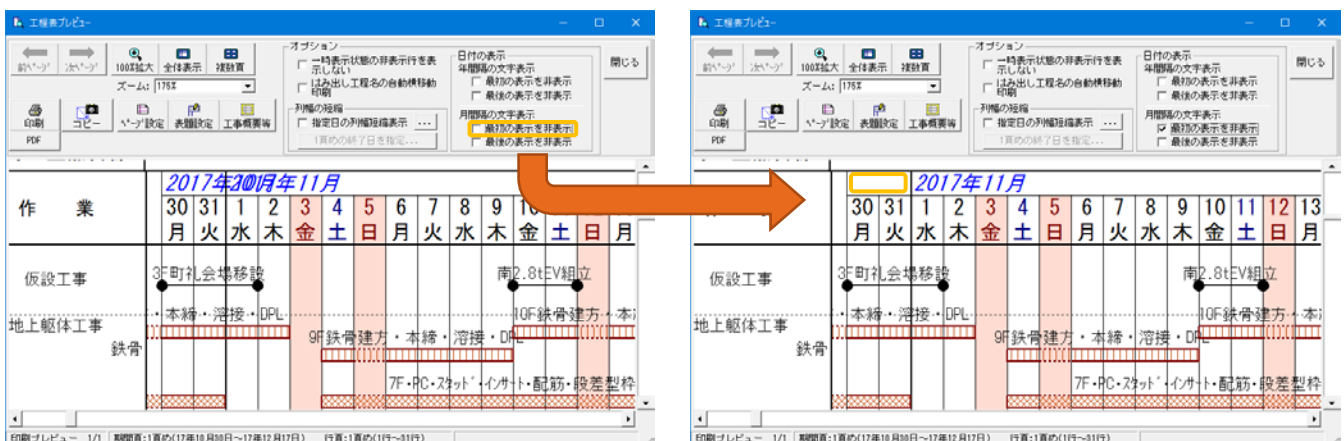
A. 印刷プレビューで「はみ出し工程名の自動横移動印刷」にチェックを入れてください。以下の例のように工程名が表示されるようになります。



Q10. 日付欄の年表記や月表記が印刷時に重なってしまう


Q. ページの最初や最後のところで、日付欄の年表記や日付表記が印刷時に重なってしまう場合があります。重ならないように印刷する方法はありますか？

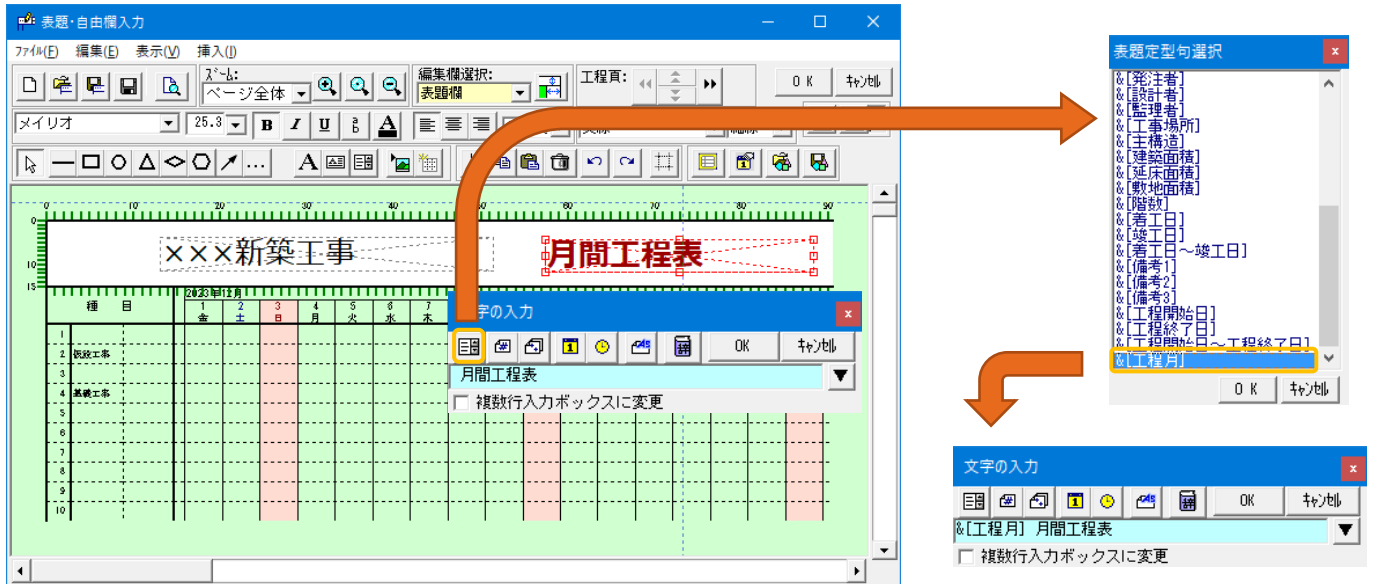
A. 印刷開始日が年末や月末の時や印刷終了日が年初や月初の時に避けられない現象です。印刷プレビューの日付表示で、ページの最初が重なる場合は「最初の表示を非表示」にチェックを入れ、ページの最後が重なる場合は「最後の表示を非表示」にチェックを入れてください。チェックに応じて非表示となり、以下の例（月間隔の文字表示で「最初の表示を非表示」にチェック）のように重ならないで表示されるようになります。なお、この機能は Ver.5.51 で追加された機能であるため、古いバージョンをご使用の場合は、[弊社ホームページの最新版ダウンロード](#)から最新版バージョンをインストールしてご利用ください。



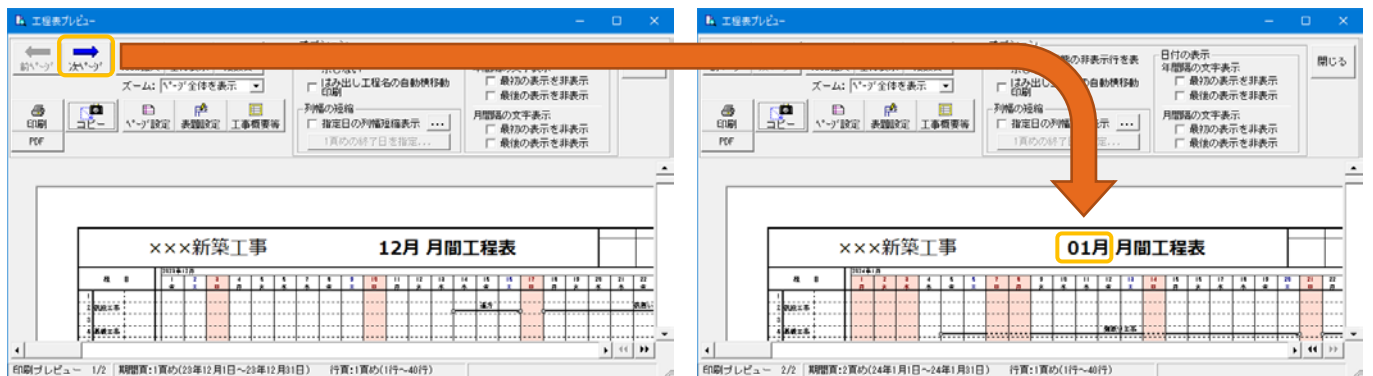
Q11.複数ページに渡る月間工程表の表題欄の月の表記をページ毎に替えたい

Q. 複数ページに渡る月間工程表を印刷した時に、表題欄の月の表記が全ページ同じとなってしまいますが、ページ毎に月の表記を変更することはできますか？

A. 表題欄で表題定型句を入力することで対応可能です。例えば、以下のように「月間工程表」の部分で  をクリックし、表題定型句から「&[工程月]」を選択して、「&[工程月] 月間工程表」とします。



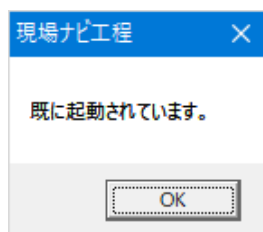
印刷プレビューを行うと、ページ毎に月の表記が自動的に変わります。例えば、1 ページ目が「12 月 月間工程表」の場合、次のページを表示すると、2 ページ目は「01 月 月間工程表」となります。



◆編集・操作

Q1. 複数の工程表を同時に開きたい

Q. 複数の工程表を同時に開くことはできますか？「エクスプローラー」やデスクトップから工程表ファイル（拡張子 AKT）をダブルクリックした場合、2 つ目を開こうとした時に「既に起動されています。」というメッセージが表示されてしまい、開くことができません。



A. [ファイル]メニューの[開く]から工程表ファイル（拡張子 AKT）を開くか、または、「エクスプローラー」やデスクトップから起動中の「現場ナビ工程」の画面上に工程表ファイル（拡張子 AKT）をクリック&ドラッグすることで、複数の工程表を同時に開くことができます。複数の工程表を開いたら、[ウィンドウ]メニューのから[上下に並べて表示]か[左右に並べて表示]か[重ねて表示]を選択してください。選択した内容に応じて、工程表が整列して表示されます。

Q2. 行の高さを一部分だけ変更したい

Q. 行の高さを一部分だけ変更することはできますか？

A. 行の高さは全ての行で同一となっています。一部分だけ行の高さを変更したい場合は、複数の行を用いて、罫線を非表示としたり、種目欄を結合する等して、1 行に見立ててください。

種 目	2022年10月													
	1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金
1														
2														
3														
4														
5														

罫線を非表示としたり、種目欄の結合を行うには、行や種目欄を選択した後に右クリックし、メニューから「セルの書式設定」「セルの結合」を選択してください。

Q3. 一行に工程線を 2 本引きたい

Q. 工程線（予定）と実施工程の線（実績）を引きたいのですが、一行に工程線を 2 本引くことはできますか？

A. 1 行に工程線を 2 本引くことはできません。2 行を 1 行に見立てる方法（前述の「Q2. 行の高さを一部分だけ変更したい」を参照）で入力してください。

種 目	2018年10月						
	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日
1							
2							

基礎工事

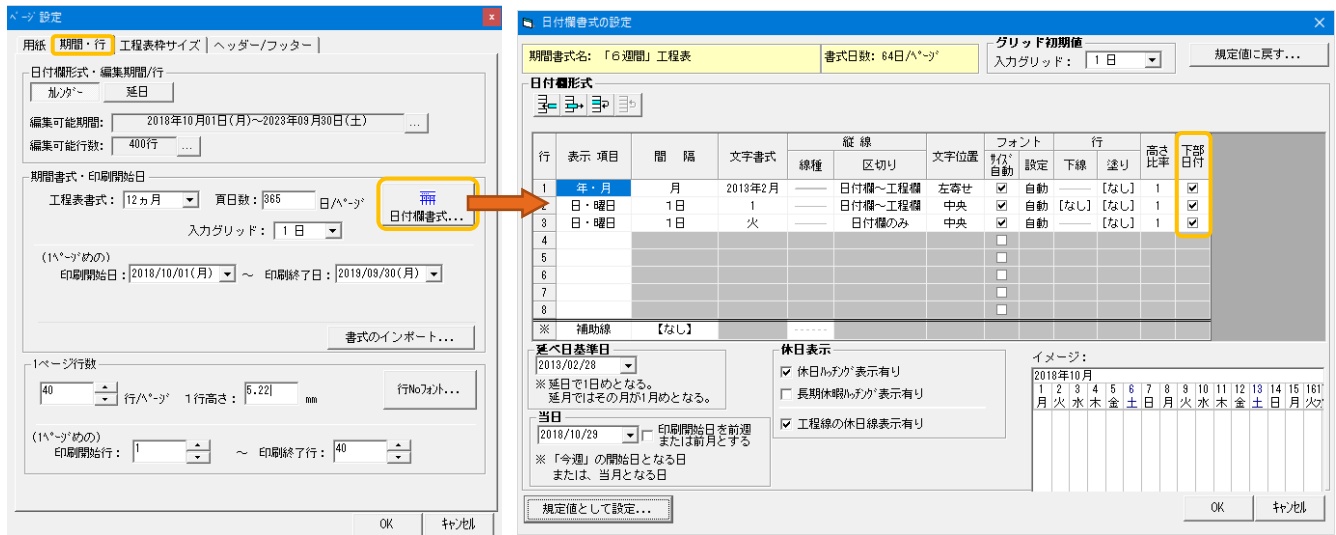
○-----○ 予定

○-----○ 実績

Q4. 日付欄を最下部に年月日を表示したい

Q. 工程欄の最上部に表示されている日付欄を、最下部にも表示させることはできますか？

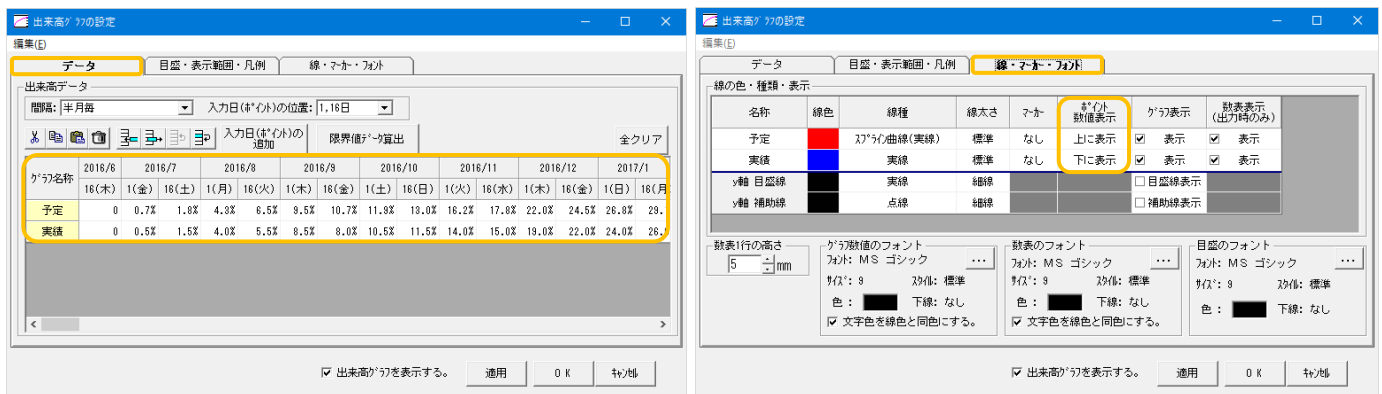
A. [ファイル]メニュー[ページ設定]を選択し、「ページ設定」画面を表示してください。「ページ設定」の[期間・行]タブの[日付欄書式...]ボタンを選択すると、「日付欄書式の設定」画面が表示されるので「下部日付」のチェックボックスを ON にしてください。なお、最下部の日付欄が表示されるのは、印刷プレビューおよび印刷後のみとなります。



Q5. 出来高曲線の数値を%で工程内に表示したい

Q. 出来高曲線の数値を%表示とし、工程内に表示することはできますか？

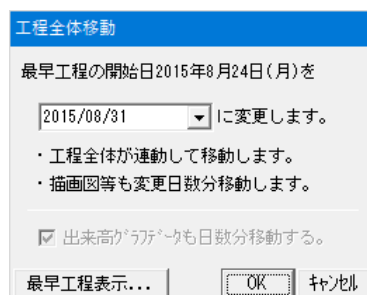
A. [設定]メニューの[出来高グラフ]を選択し、「出来高グラフ」画面の[データ]タブで、数値に%をつけて入力してください。そして、[線・マーカー・フォント]タブで「ポイント数値表示」を表示する設定にしてください。



Q6. 工程表の着工日を移動したい

Q. 工程表作成後に、工事の着工日が変更になりました。複数の工程線をまとめて移動させて、着工日を変更することはできますか？

A. [編集]メニュー[工程全体移動]を選択してください。以下の「工程全体移動」画面が表示され、最早工程の開始日を変更することで、まとめて移動することができます。



また、部分的な移動や調整が必要な場合は、[編集]メニュー[一括指定]を選択してください。以下の「一括指定」画面が表示され、全ての工程線（イベント文字を含む）または描画オブジェクトを選択することができるので、選択対象を決定して[OK]ボタンを押し、マウスやキーボードで移動させて開始日を変更してください。



Q7. 時間単位の工程表を作成したい

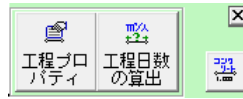
Q. 時間単位の工程表を作成したいのですが、[編集]メニューに[工程・イベント一覧]が表示されません。

A. 「現場ナビ工程 + T」の契約が必要となります。構造ソフトの「現場ナビ工程」営業担当（TEL:03-5948-8450）までご相談ください。

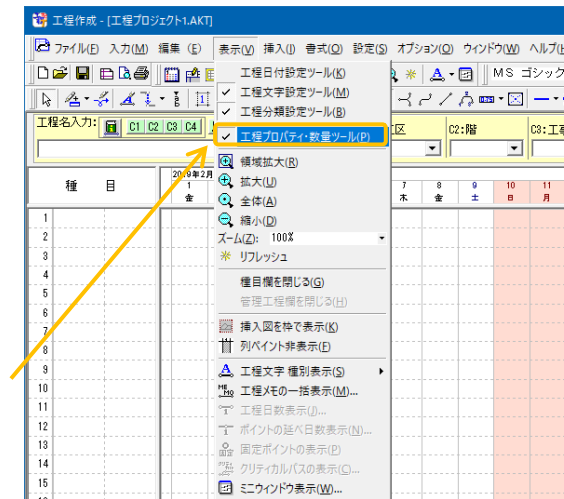
Q8. 「工程プロパティ・数量ツール」を表示したくない

フラスター

Q. 「現場ナビ工程 + T」Ver.5.07 で追加された「工程プロパティ・数量ツール」を非表示にすることはできますか？



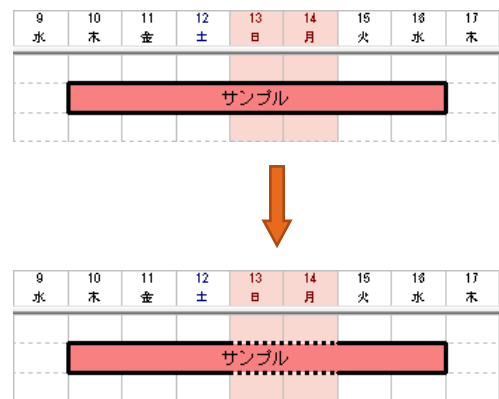
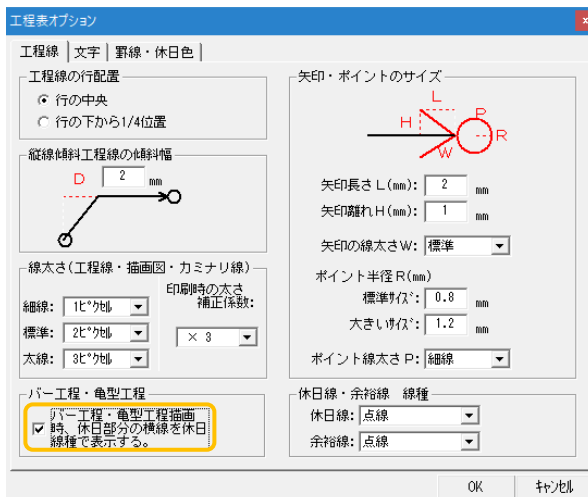
A. [表示]メニューの[工程プロパティ・数量ツール]を選択し、チェック (✓) を OFF にしてください。



Q9. バー工程の休日部分を点線にしたい

Q. バー工程が休日にまたがる場合、休日部分が点線になりません。点線で描画することはできますか？

A. [オプション]メニューの[工程表オプション]の設定画面で、「バー工程・亀型工程描画時、休日部分の横線を休日線種で表示する。」にチェックを入れることで、バー工程でも休日部分を点線で描画することができます。



Q10. 文字サイズやフォントを一度の操作ですべて変更したい

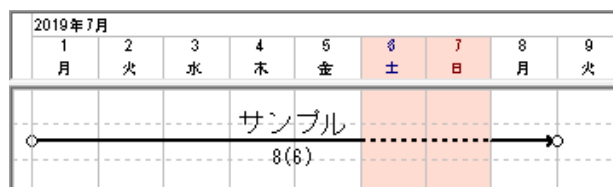
Q. 工程表作成後に工程表書式を変更したところ、文字が読みにくくなってしまいました。工程名等のサイズやフォントを一度の操作ですべて変更することはできますか？

A. [書式]メニューの[フォント一括設定]の設定画面で、「設定文字種の選択」から変更したい文字の種類（例：「工程名・メモ文字」）を選び、左側のチェックボックスを ON にすると、その文字のサイズやフォントをまとめて一度にすべて変更することができます。

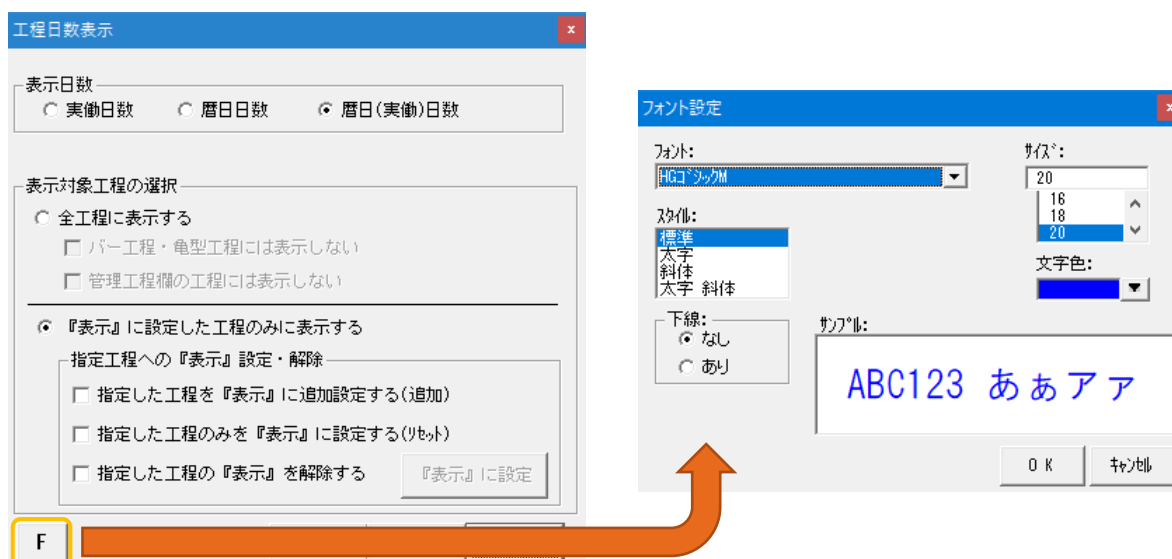


Q11. 工程線の工程日数（実働日数や暦日数）の表示サイズを変更したい

Q. 工程線に工程日数（実働日数や暦日数）を[表示]メニューの[工程日数表示]で表示させた時に、この表示サイズやフォントを変更することはできますか？

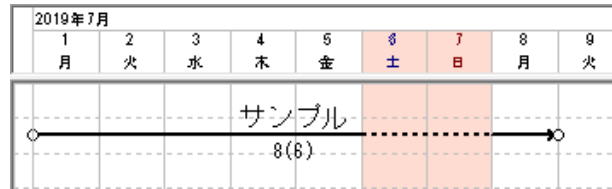


A. [表示]メニューの[工程日数表示]の設定画面で、[F]ボタンを押すと、サイズ・フォント・色等を変更することができます。なお、工程表全体で共通の一律の設定となります。

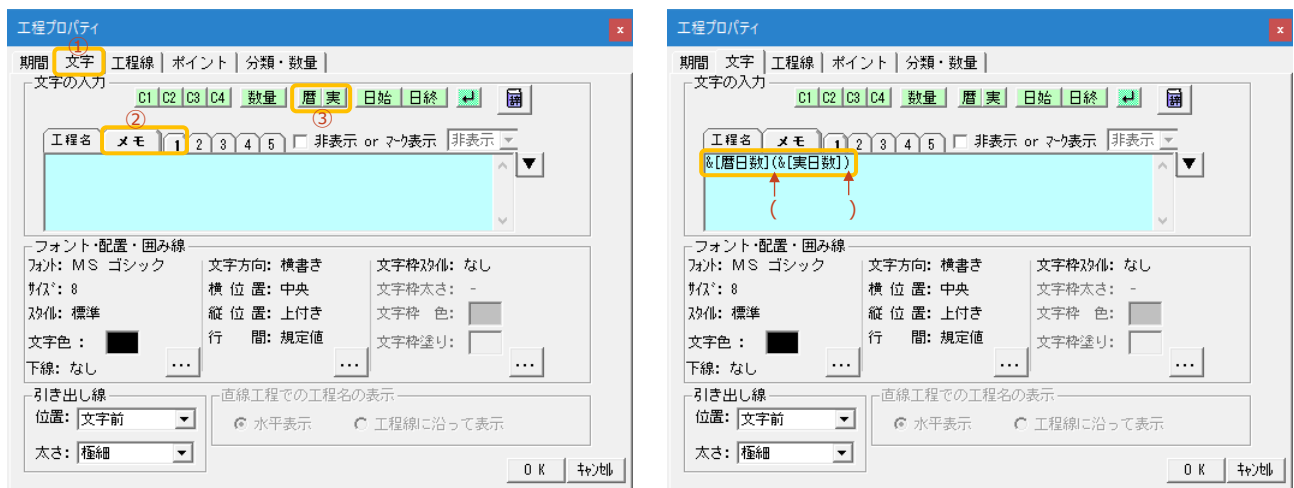


Q12. 工程線の工程日数（実働日数や暦日日数）の表示位置を変更したい

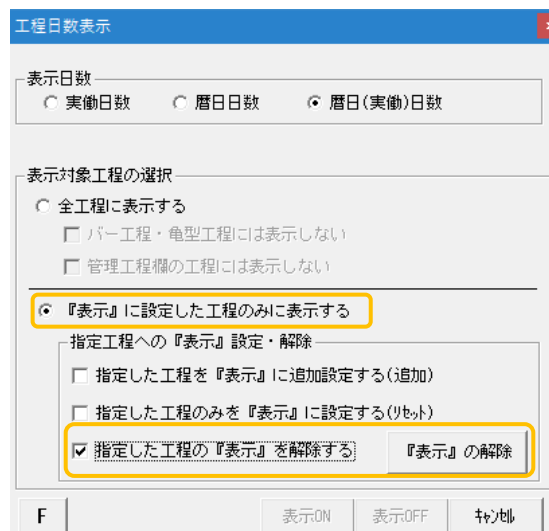
Q. 工程線に工程日数（実働日数や暦日日数）を[表示]メニューの[工程日数表示]で表示させた時に、必ず中央に表示されますが位置を変更することはできますか？



A. 工程日数表示の機能では移動させることはできませんが、「工程プロパティ」画面で実働日数や暦日日数を表示するようにすることで対応することができます。工程線を選択し、ダブルクリックするか右クリックのメニューから[工程プロパティ]を選択し、「工程プロパティ」画面を開きます。[文字]タブの[メモ]で[実][暦]ボタンを使って、実働日数と暦日日数を表示するようにします。なお、暦日日数と実働日数を並べて表示し、実働日数は括弧書きにしたい場合は、以下の右側の画面のように、[暦][実]ボタンを押した後に、実稼働日数の表示を意味する表記の前後にキーボードで（ ）を入力してください。

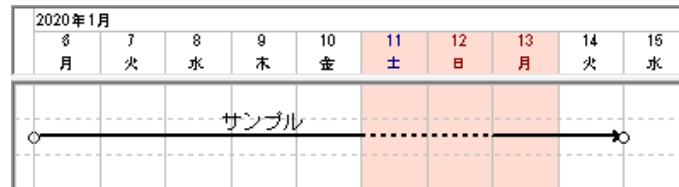


この機能を用いた場合は、工程名と同様の扱いとなるため、位置をマウスで自由に動かせ、サイズ・フォント・色等も個別に設定することができます。なお、初期設定では引き出し線が付くので、不要な場合は「工程プロパティ」画面で変更してください。また、上記の入力をすべての工程線には行わず、表示位置を変更したい一部の工程線のみに入力を行った場合は、上記の入力を行わなかった工程線を選択し、[表示]メニューの[工程日数表示]の設定画面で、『表示』に指定した工程のみに表示する』で適切な設定を行ってください。



Q13. 1本の工程線内で休日の一部のみを稼働日にしたい

Q. 1本の工程線内で休日の一部のみ稼働日にすること（例：以下の13日の表現をしたい）はできますか？



A. 1本の工程線内で休日の一部のみ稼働日にする機能はありませんが、稼働日としたい日の前後で分けて2本の工程線とすることで表現することが可能です。入力後、工程線を選択し、ダブルクリックするか右クリックのメニューから[工程プロパティ]を選択し、「工程プロパティ」画面を開き、左側の工程線のポイント形状を終点スタイル「なし」かつ終点矢印を「矢印なし」とし、工程線のポイント形状を始点スタイル「なし」かつ「休日を考慮しない」としてください。



工程プロパティ

期間 | 文字 | 工程線 | **ポイント** | 分類・数量

ポイント形状

始点対称: ○ | **終点対称: なし**

始点対称: 標準 | 終点対称: 標準

始点色: ■■■ | 終点色: ■■■

日付の表示と固定有無

始点: 非表示 | 終点: 非表示

始点文字対称: 9pts | 終点文字対称: 9pts

始点を固定する 終点を固定する

OK キャンセル

工程プロパティ

期間 | 文字 | 工程線 | **ポイント** | 分類・数量

ポイント形状

始点対称: なし | 終点対称: ○

始点対称: 標準 | 終点対称: 標準

始点色: ■■■ | 終点色: ■■■

日付の表示と固定有無

始点: 非表示 | 終点: 非表示

始点文字対称: 9pts | 終点文字対称: 9pts

始点を固定する 終点を固定する

OK キャンセル

工程プロパティ

期間 | 文字 | **工程線** | ポイント | 分類・数量

線

形状: — | 線種: — | 太さ: 標準

色

線色: ■■■ | 塗りつぶし: ■■■

縦線の傾斜

傾斜しない 傾斜する

終点矢印

矢印あり **矢印なし**

バー・電型工程 縦配置

1/4規定値 行の中央 行の下から1/4位置

行の下ラベルに合わせる

OK キャンセル

工程プロパティ

期間 | 文字 | 工程線 | ポイント | 分類・数量

①開始日: 2020/01/09 ~ ②終了日: 2020/01/14

③実働日数: 6 | 設定する
+ 余裕日数: (実働)

休日を考慮しない

連動する

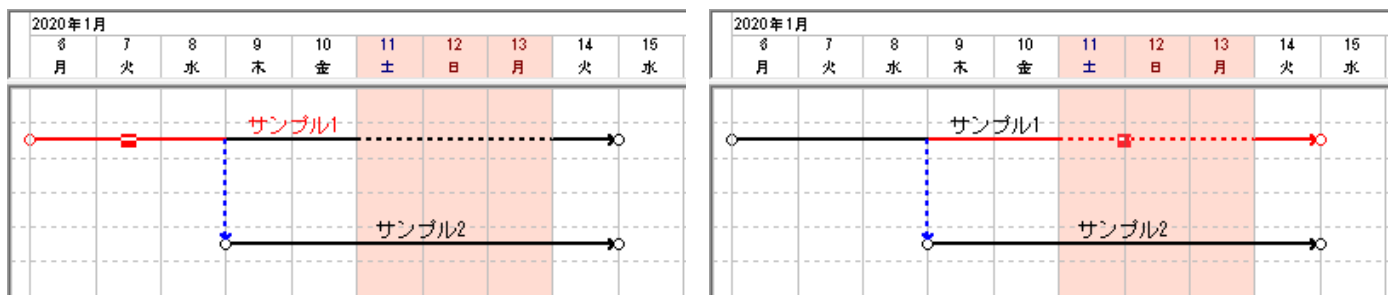
OK キャンセル

Q14. 工程線内の途中に連結線やダミー線を繋ぎたい

Q. 工程線の途中に連結線やダミー線を繋ぐことはできますか？



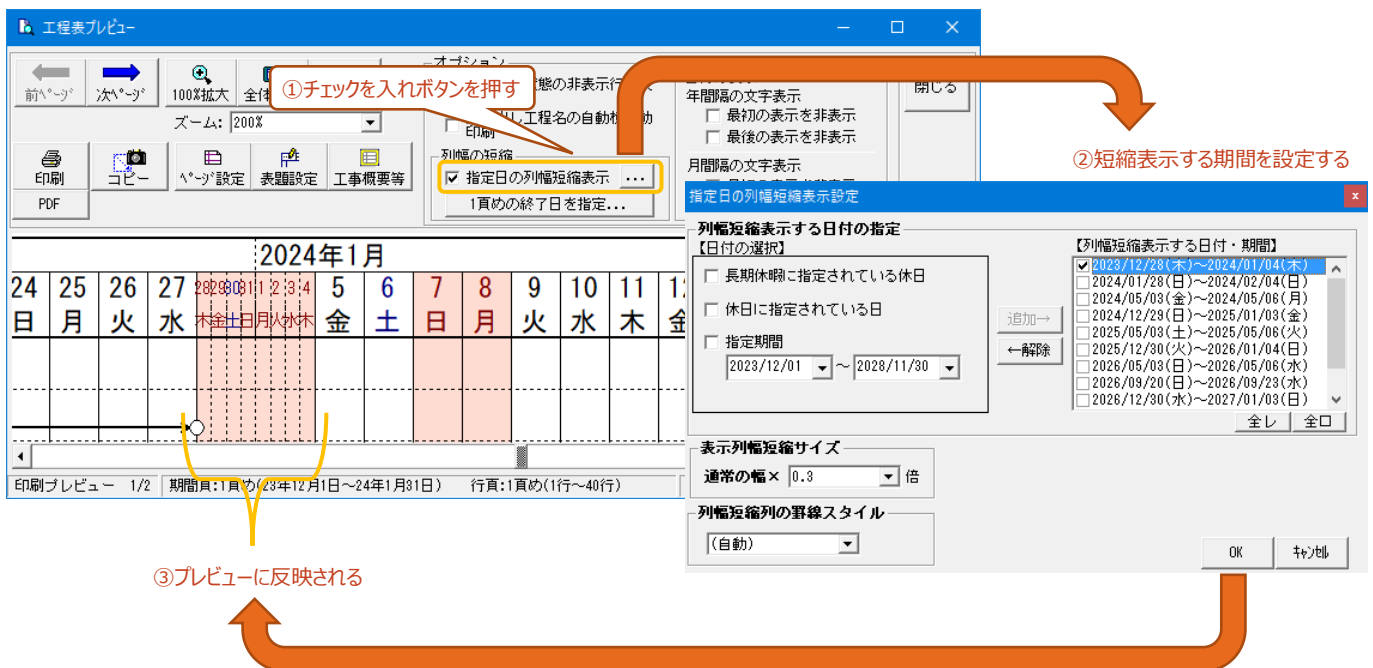
A. 工程線の途中に連結線やダミー線を繋ぐ機能はありませんが、工程線を連結線やダミー線を繋ぎたい日の前後で分けて2本の工程線で表現すること（前述の「Q13. 1本の工程線内で休日の一部のみを稼働日にしたい」を参照）で対応が可能です。



Q15. 長期休暇の列を非表示にしたい

Q. 長期休暇がある場合、その間の列を非表示にすることはできますか？

A. 列を非表示にする機能はありませんが、印刷プレビューの「指定日の列幅短縮表示」を使うことで、休日の列幅を短縮して印刷にすることができます。「指定日の列幅短縮表示」にチェックを入れて右の[...]ボタンを押すと、設定画面が表示されるので設定を行ってください。なお、短縮するサイズは初期設定で通常の幅の0.3倍となっていますが、変更することも可能です。



①チェックを入れボタンを押す

②短縮表示する期間を設定する

③プレビューに反映される

指定日の列幅短縮表示設定

列幅短縮表示する日付の指定
【日付の選択】

- 長期休暇に指定されている休日
- 休日に指定されている日
- 指定期間

指定期間: 2023/12/01 ~ 2028/11/30

【列幅短縮表示する日付・期間】

- 2023/12/28(木)~2024/01/04(木)
- 2024/01/28(日)~2024/02/04(日)
- 2024/05/03(金)~2024/05/06(月)
- 2024/12/29(日)~2025/01/03(金)
- 2025/05/03(土)~2025/05/06(火)
- 2025/12/30(火)~2026/01/04(日)
- 2026/05/03(日)~2026/05/06(水)
- 2026/09/20(日)~2026/09/23(水)
- 2026/12/30(水)~2027/01/03(日)

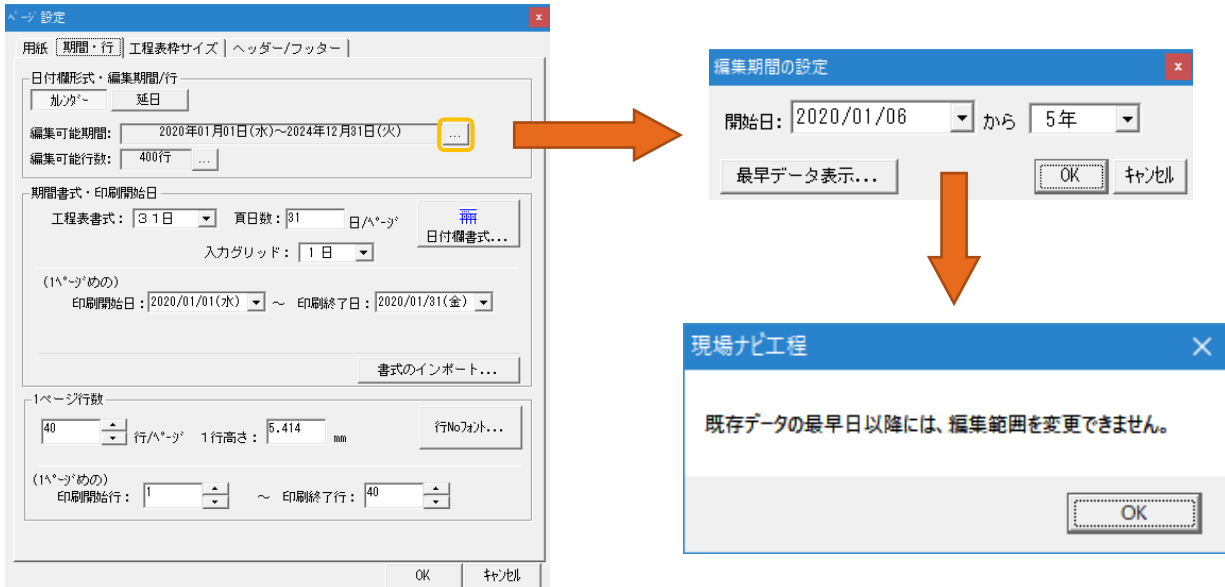
表示列幅短縮サイズ
通常幅 × 0.3 倍

列幅短縮列の罫線スタイル
(自動)

OK キャンセル

Q16. 編集可能期間を変更したら「既存データの最早日以降には、編集範囲を変更できません。」と表示される

Q. 「ページ設定」画面で編集可能期間を変更したところ、「既存データの最早日以降には、編集範囲を変更できません。」というエラーが表示され、変更できません。



A. 現在開いている既存データに工程線を存在していることが原因です。工程線が存在する日より後ろの期間だけを編集可能期間として設定することは、矛盾が生じるため、できない仕様となっています。

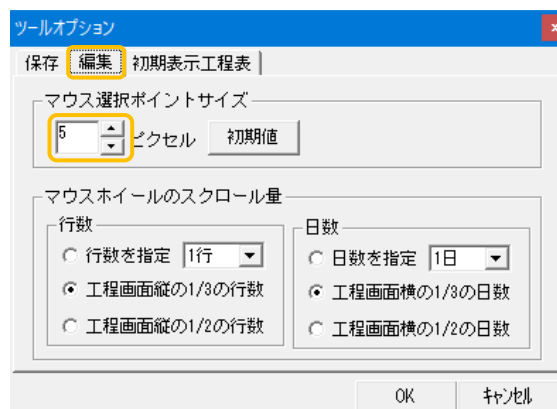
以前に作成した既存データを利用して新しい工程表を作成したい場合は、編集可能期間としたい日より前に存在する工程線等を削除してから編集可能期間を変更してください。あるいは、編集可能期間を変更せずにそのまま加筆し、印刷範囲を変更する運用を行ってください。

もし、新しい工程表を作成するのではなく、作成済の工程の着工日を変更するために、編集可能期間を変更しようとしている場合は、編集可能期間は変更せず、[編集]メニュー[一括指定]の機能（P15「Q6. 工程表の着工日を移動したい」参照）を使ってください。

Q17. 工程線のポイントやカミナリ線をうまく選択できない NEW

Q. 工程線のポイントやカミナリ線を選択する際、マウスでクリックしてもうまく選択できません。拡大表示せずに選択しやすくする方法はありますか？

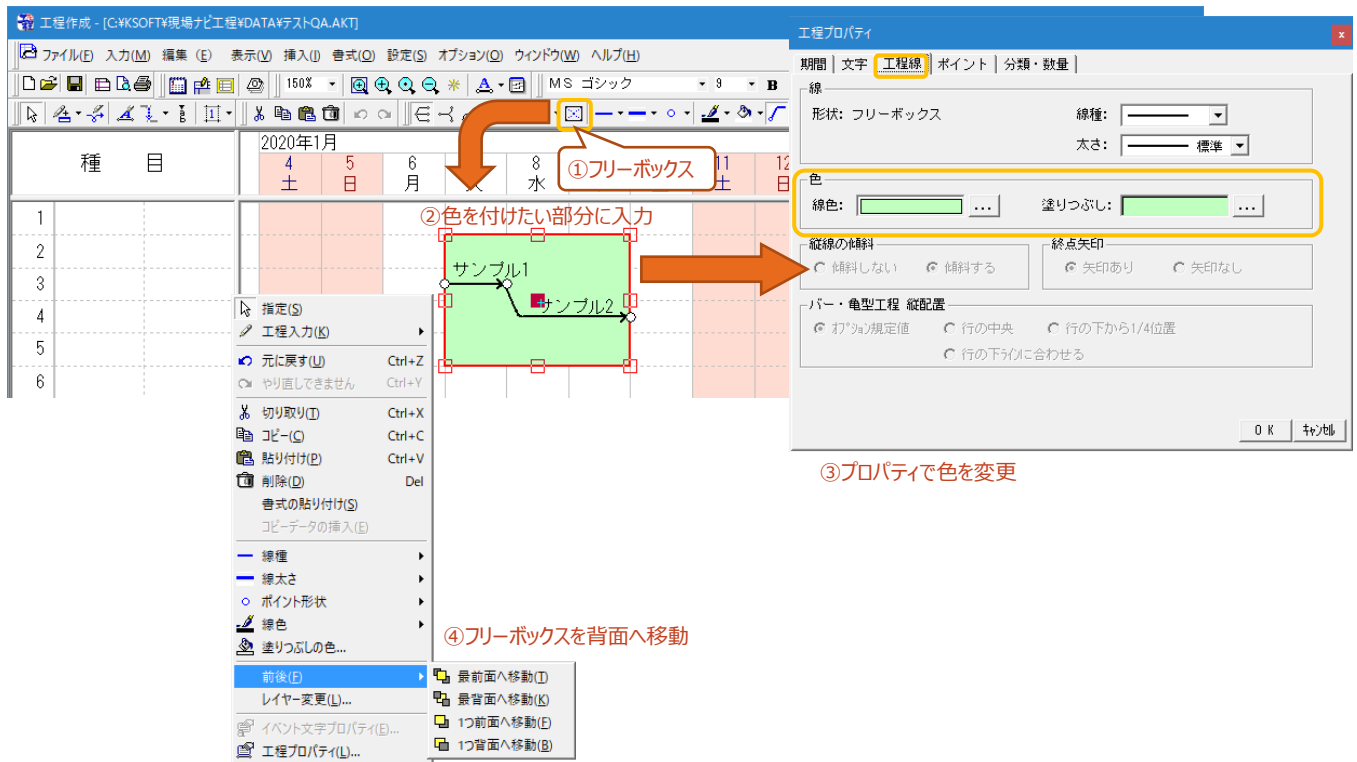
A. [オプション]メニューの[ツールオプション]の設定画面で、[編集]タブを選択し、「マウス選択ポイントサイズ」を大きめ（例：5ピクセル）に設定してください。



Q18. 背景の一部に色を付けたい NEW

Q. 工程線を目立たせるために、一部の背景（セル）に色を付けたいのですが、セルの書式の設定は行と列の単位となっています。何か方法がありますか？

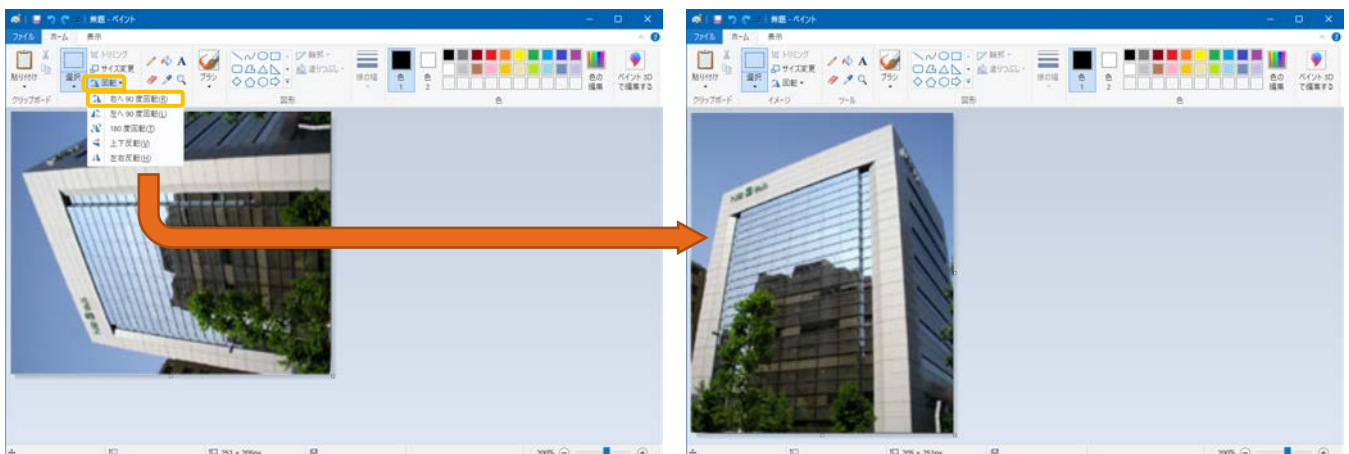
A. 色を付けたい範囲にフリーボックス型工程を入力し、色を「線色」と「塗りつぶし」で同じ色として運用を行ってください。なお、工程線が隠れてしまう場合は、フリーボックスを選択して、右クリックのメニューから[前後]で、フリーボックスを背面へ移動してください。また、フリーボックスの代わりに描画図を入力した場合は、P32「Q37. 工程名を検索してまとめて編集したい」を参照してください。



Q19. 挿入した図を回転させたい

Q. 挿入した図（図面や写真等）を回転させたいのですが、何か方法がありますか？

A. 「現場ナビ工程」に挿入した図を回転させる機能はありませんが、画像編集ソフト（Windows に標準搭載されている「ペイント」等）を用いることで対応可能です。予め画像編集ソフトで回転した画像を用意して、その図を貼り付けてください。画像編集ソフトの操作方法については、弊社でサポートできる範囲ではありませんが、以下の例（「ペイント」での回転）を参考にしてください。



Q20. 通常の操作で消せない縦線がある

Q. 他の人が作成した工程表を編集しています。以下のような太い縦線があるのですが、工程列ライン表示（列罫線の設定）で入力されたものではありませんでした。マウスで選択することもできないのですが、この線を消すにはどのようにすればよいのでしょうか？

2020年4月								
1	2	3	4	5	6	7	8	9
水	木	金	土	日	月	火	水	木

A. 縦線が工程列ライン表示（列罫線の設定）で変更できず、マウスでも選択できない場合、カミナリ線が予定通りの進捗を意味する縦の直線として入力されていると考えられます。該当箇所を拡大表示してから、[入力]メニューの[カミナリ線の入力・変更]を選択し、マウスカーソルがカミナリ線の形状になったら、縦線（カミナリ線）の上でクリックします。以下のメニューが表示されるので、[削除]を選択してください。

2020年4月								
1	2	3	4	5	6	7	8	9
水	木	金	土	日	月	火	水	木
4月 2日(木)								

もし、カミナリ線がうまく選択できない場合は、拡大表示して操作するか、マウス選択ポイントサイズの設定を大きめてください。詳細はP21の「Q17. 工程線のポイントやカミナリ線を選択できない」を参照してください。

Q21. 連結線やダミー線をうまく入力できない **NEW**

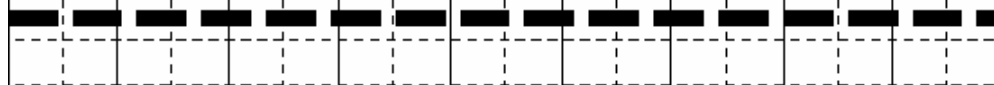
Q. 連結線やダミー線の入力において、1つ目の工程線の終了ポイントと2つ目の工程線の開始ポイントを選択して繋ぐ際に、マウスでクリックしてもうまく選択できません。拡大表示せずに選択しやすくする方法はありますか？

2022年2月						
1	2	3	4	5	6	7
火	水	木	金	土	日	月

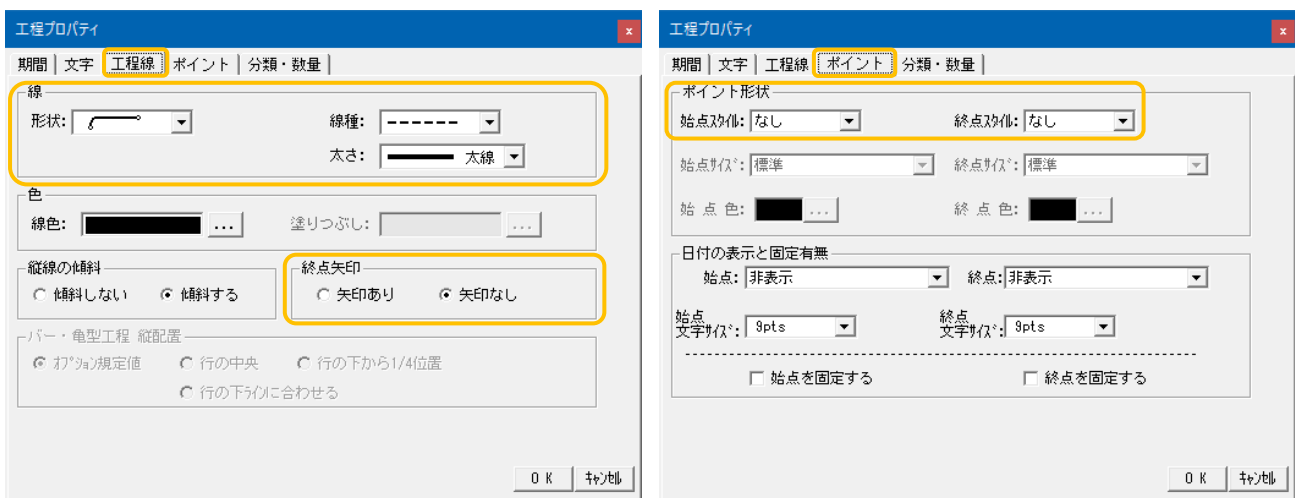
A. [オプション]メニューの[ツールオプション]の設定画面で、[編集]タブを選択し、「マウス選択ポイントサイズ」を大きめ（例：5ピクセル）に設定してください。P21の「Q17. 工程線のポイントやカミナリ線を選択できない」と同じ内容となりますので、設定画面はそちらを参照してください。

Q22. バー工程を破線にしたい

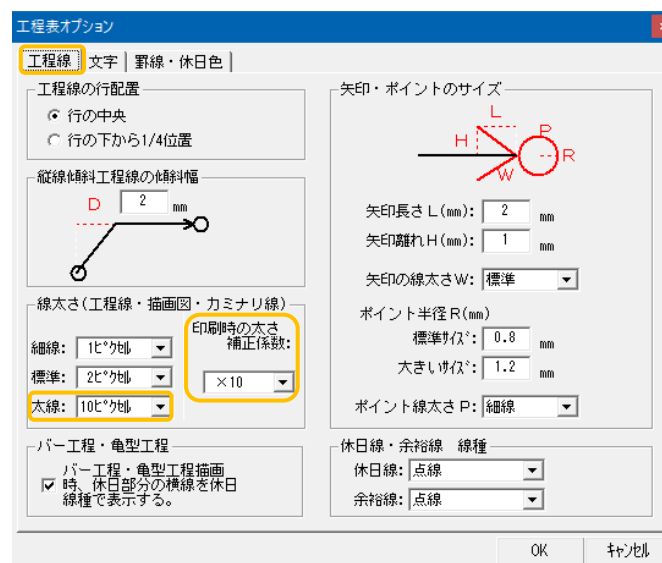
Q. バー工程線で以下のような破線で表現することはできますか？

2020年								
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
								

A. バー工程線で破線の表現はできませんが、工程線を太くすることで代用可能です。工程線を入力した後、選択してダブルクリックするか右クリックのメニューから[工程プロパティ]を選択し、「工程プロパティ」画面を開きます。[工程線]タブの線で形状を「形状 1」、線種を「破線」、太さを「太線」、終点矢印を「矢印なし」とします。

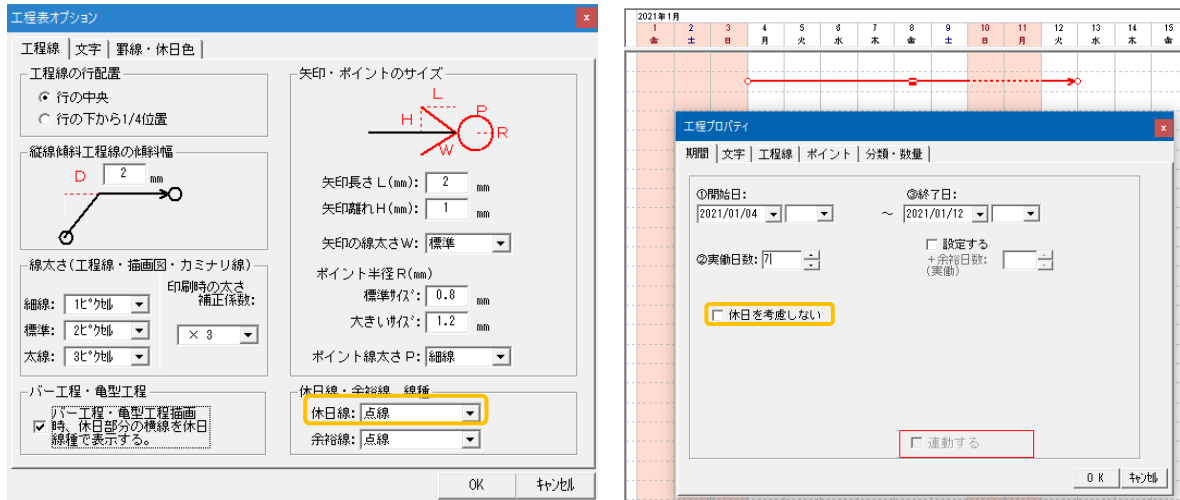


[オプション]メニューの[工程表オプション]を選択します。「工程表オプション」画面の[工程線]タブで、線の太さの「太線」の値を大きく（例：10ピクセル）し、「印刷時の太さ補正係数」の値を大きく（例：×10）します。太さに限界がありますが、Qの図のような表現ができます。

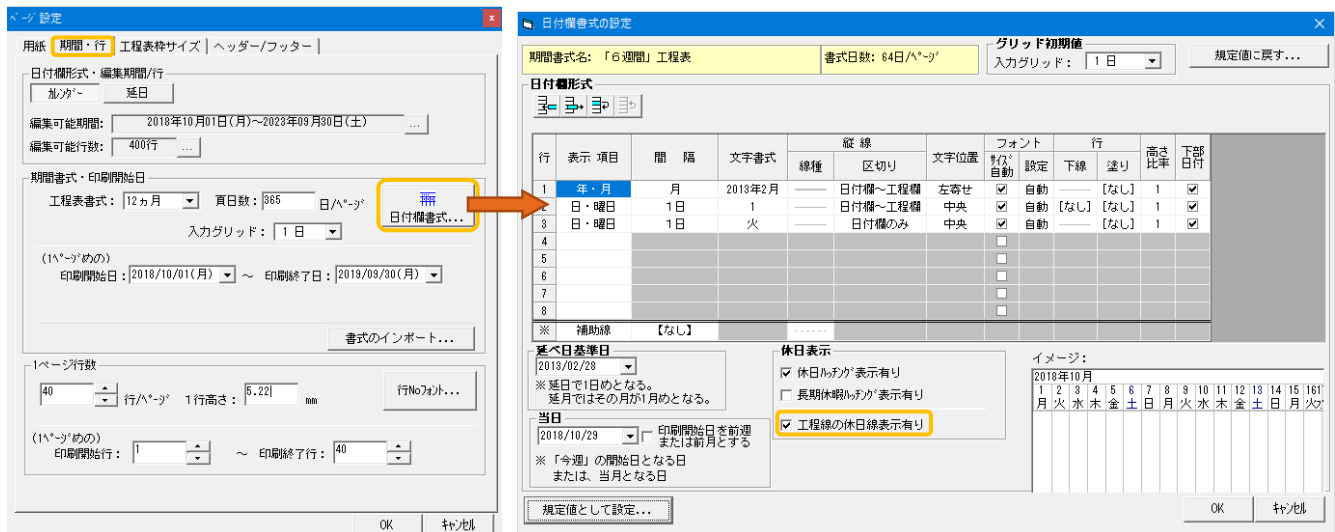


Q23. 休日部分の工程線が点線にならない

Q. [オプション]メニューの[工程表オプション]の設定画面で休日線を「点線」に設定しましたが、休日部分の工程線が点線になりません。「工程プロパティ」画面で「休日を考慮しない」のチェックボックスは OFF にしていますが、他に関係する設定はありますか？



A. [ファイル]メニュー-[ページ設定]を選択し、「ページ設定」画面を表示してください。「ページ設定」の[期間・行]タブの[日付欄書式...]ボタンを選択すると、「日付欄書式の設定」画面が表示されるので「工程線の休日線表示有り」のチェックボックスを ON にしてください。なお、バー工程の場合は、さらに P16「Q9. バー工程の休日部分を点線にしたい」も参照してください。



Q24. 休日設定で工程線が自動で増減する場合としない場合がある

Q. 休日設定を変更した時に、工程が自動で増減する場合としない場合があります。条件や対処方法はありますか？

A. 休日を考慮して自動で増減する工程線は、以下となっています。

- ① 休日設定を変更した日にまたがっている工程線（「工程プロパティ」画面で「休日を考慮しない」のチェックボックス OFF）
- ② 上記①に繋がっている工程線（「工程プロパティ」画面で「連動する」のチェックボックス ON）
- ③ 上記①または②に連結線で繋がっている工程線

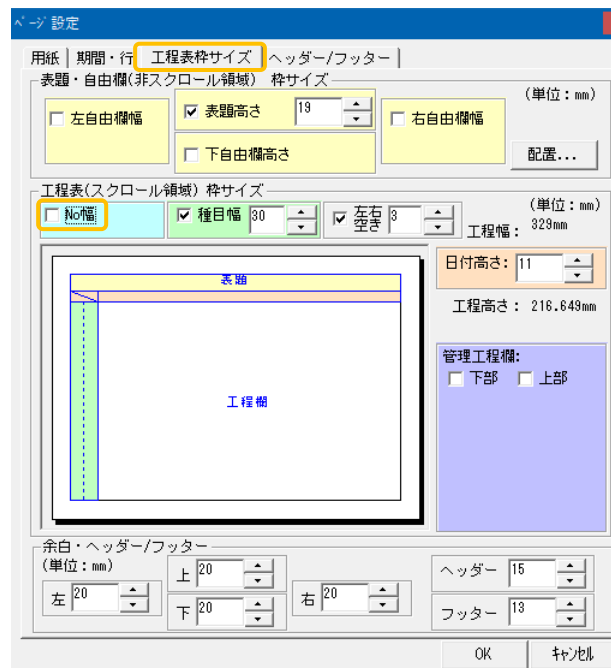
上記に該当しない工程線に関しては、工程線を個別にマウス操作で移動させるか、ダブルクリックまたは右クリックメニューから「工程プロパティ」画面を開き、開始日を変更してください。休日設定を変更した日より後の工程線をまとめて移動させたい場合は、P15「Q6. 工程表の着工日を移動したい」を参照して、移動対象を選択してマウス操作で移動してください。

Q25. 種目欄の数字を無くしたい

Q. 種目欄に数字（行数）が表示されていますが、この数字を無くすことはできますか？

種目	2021年1月						
	1	2	3	4	5	6	7
	金	土	日	月	火	水	木
1							
2							
3							
4							
5							

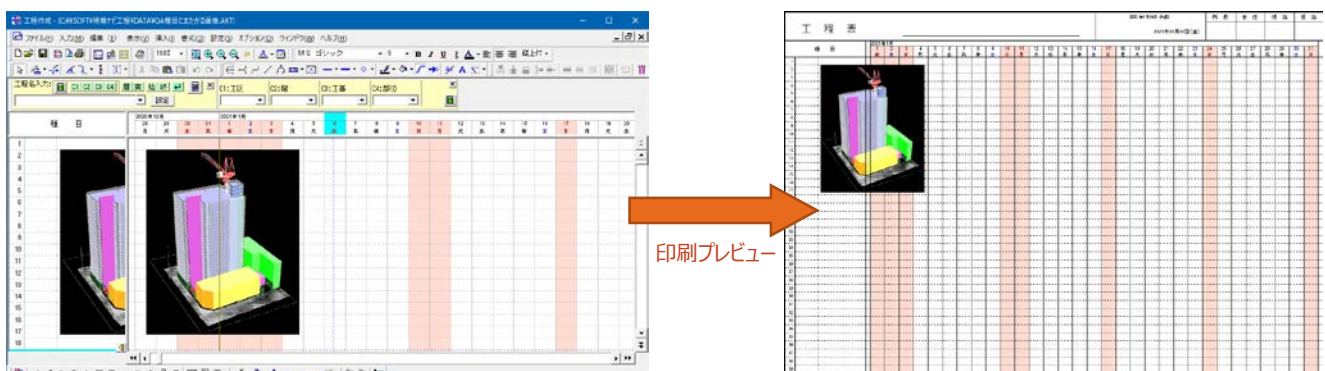
A. [ファイル]メニュー[ページ設定]を選択し、「ページ設定」画面を表示してください。「ページ設定」の[工程表枠サイズ]タブで「No 幅」のチェックボックスを OFF にしてください。



Q26. 種目欄と工程欄をまたいで図を挿入したい

Q. 種目欄と工程欄をまたいで図を挿入したいのですが、何か方法はありますか？

A. 種目欄と工程欄に図を分けて、それぞれに挿入する運用を行ってください。種目欄に挿入する図は、画像編集ソフト（Windows に標準搭載されている「ペイント」等）で種目欄の中で表示するサイズに切り出してから挿入します。工程欄に挿入する図は、元の図のままで構いませんが、工程の編集期間を印刷開始日より少し前からとする等の工夫が必要になります。印刷プレビューで確認しながら、工程欄に挿入した図をキーボードの矢印で細かく移動して綺麗に繋がるように調整してください。



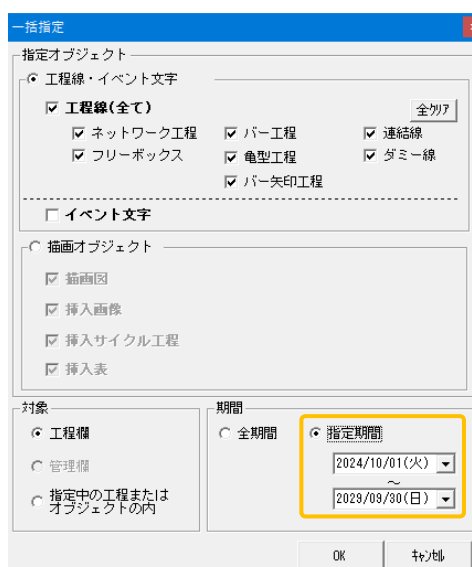
Q27. 別の工程表から特定の部分をコピーしたい

Q. 別の工程表から特定の部分をコピーしたいのですが、何か方法はありますか？

A. 複数の工程表を開く方法は、P13「Q1. 複数の工程表を同時に開きたい」を参照してください。仮にコピー元が工程表 A、コピー先が工程表 B の場合は、工程表 A で対象の工程線を選択してコピーし、工程表 B で貼り付ける操作を行います。

この時、工程表 A では対象の工程線を 1 つ 1 つ選択しなくても、マウスによる範囲指定で選択することができますが、範囲が矩形ではない場合は、[Shift]キーを押しながらの操作が有効です。[Shift]キーを押しながら工程線を選択することで、既に指定されている工程線に追加指定することが可能で、逆に[Shift]キーを押しながら指定済の工程線を選択することで、指定を解除することも可能です。詳細は、マニュアル（ヘルプ）の「5.3 工程の指定」を参照してください。なお、マニュアル（ヘルプ）は、[ヘルプ]メニューの[ヘルプ]から表示することができます。

もし、特定の期間の工程線をすべての場合は、一括指定機能を使うことで、まとめて選択することが可能です。[編集]メニュー[一括指定]を選択すると、以下の設定画面が表示されるので、画面右下の「指定期間」を選択してください。



その他のコピー方法として、コピー元（工程表 A）のデータを“工程 CSV 形式ファイル”に出力し、コピー先（工程表 B）で“工程 CSV 形式ファイル”を読み込んで、2 つの工程表を結合する方法があります。操作方法の詳細は、マニュアル（ヘルプ）の[拡張機能マニュアル]の「Ver.4.20 工程データの活用」から「1-2-1 工程 CSV 形式ファイルの書出し」と「1-2-3 工程 CSV 形式ファイルの読み込み」を参照してください。この方法の場合、すべての工程線を結合しますので、コピー元（工程表 A）に不要な部分がある場合、事前に削除して別ファイルとしてから操作する必要があります。また、“工程 CSV 形式ファイル”を用いる場合、一度 CSV に変換していることから、コピー元のフォントや色等の情報は引き継がれません。必要に応じて、結合した後に、前述の一括指定やマウスでの範囲指定等で選択して、編集してください。

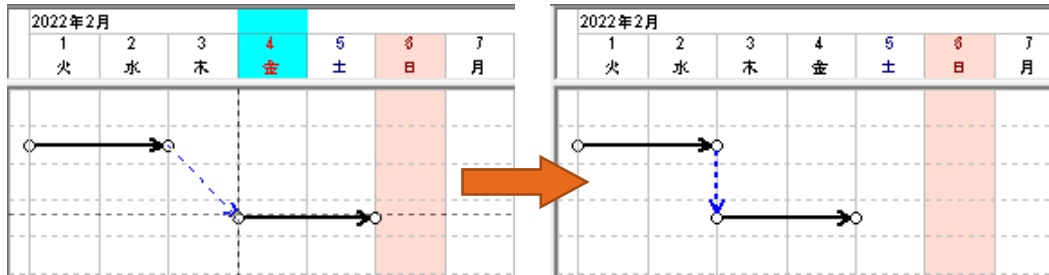
Q28. 複数人による同時編集

Q. 複数人による同時編集はできますか？

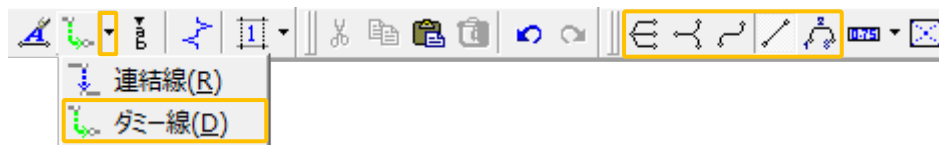
A. 複数人による同時編集には対応していません。レイヤー機能を使い、編集者ごとの編集箇所が分かるようにしておき、それぞれ別データとして保存してください。その後、前述の「Q27. 別の工程表から特定の部分をコピーしたい」の方法でデータを結合して、変更箇所を確認しながら、最終的な工程表となるように編集してください。レイヤー機能の詳細は、マニュアル（ヘルプ）の「14.3 レイヤー機能」を参照してください。なお、マニュアル（ヘルプ）は、[ヘルプ]メニューの[ヘルプ]から表示することができます。

Q29. 連結線を斜めに入力したい

Q. 離れた工程線の間で連結線を入力しようとすると、以下の右側のように連結線が直線になり工程が移動してしまいます。以下の左側の状態のままとし、連結線を斜めに入力することはできますか？

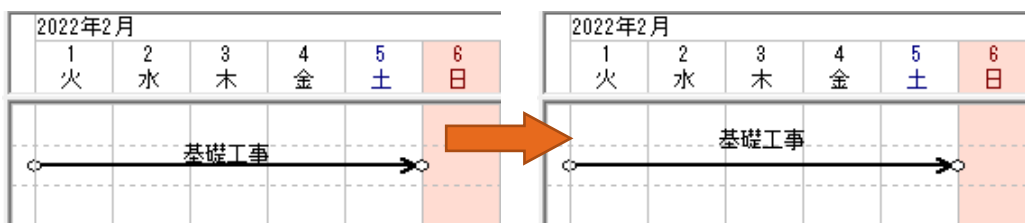


A. 「現場ナビ工程」では、連結線は接続日数が0日の鉛直線となります。接続日数が0日以外の場合は、連結線のアイコンの右側の▼を押し、ダミー線に切り替えることで斜めに入力することができます。なお、ダミー線の形状は、工程線の形状と同じになるため、意図する形状とならない場合は、工程形状のアイコンを用いて変更してください。

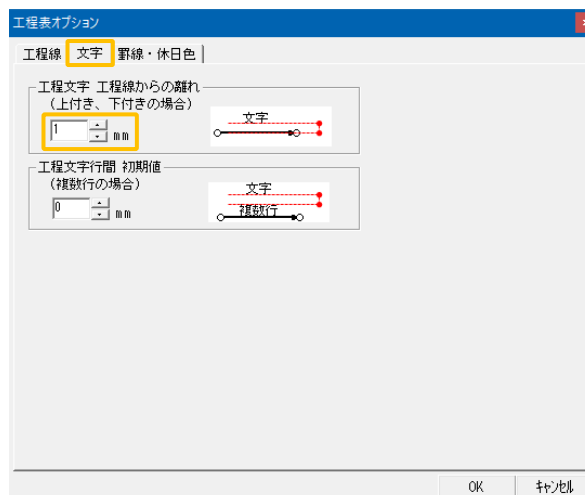


Q30. 工程名の位置をマウスを使わないで一律に変更したい

Q. 工程名の位置が工程線と近いのでマウスで動かして調整しています。マウスを使わないで工程名の位置を一律に変更することはできますか？



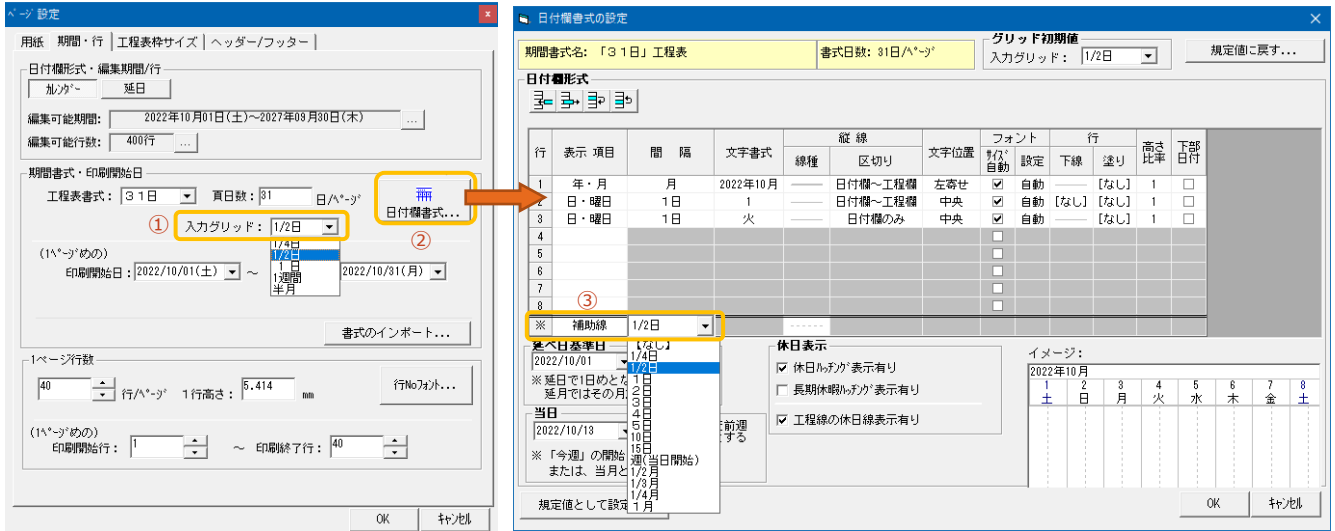
A. [オプション]メニューの[工程表オプション]を選択し、「工程表オプション」画面の[文字]タブの「工程文字 工程線からの離れ」を入力することで、工程名の表示位置を変更することができます。この設定は、これから入力する工程名と入力済の工程名の両方に反映されます。ただし、マウスで位置を動かした工程名については反映されません。



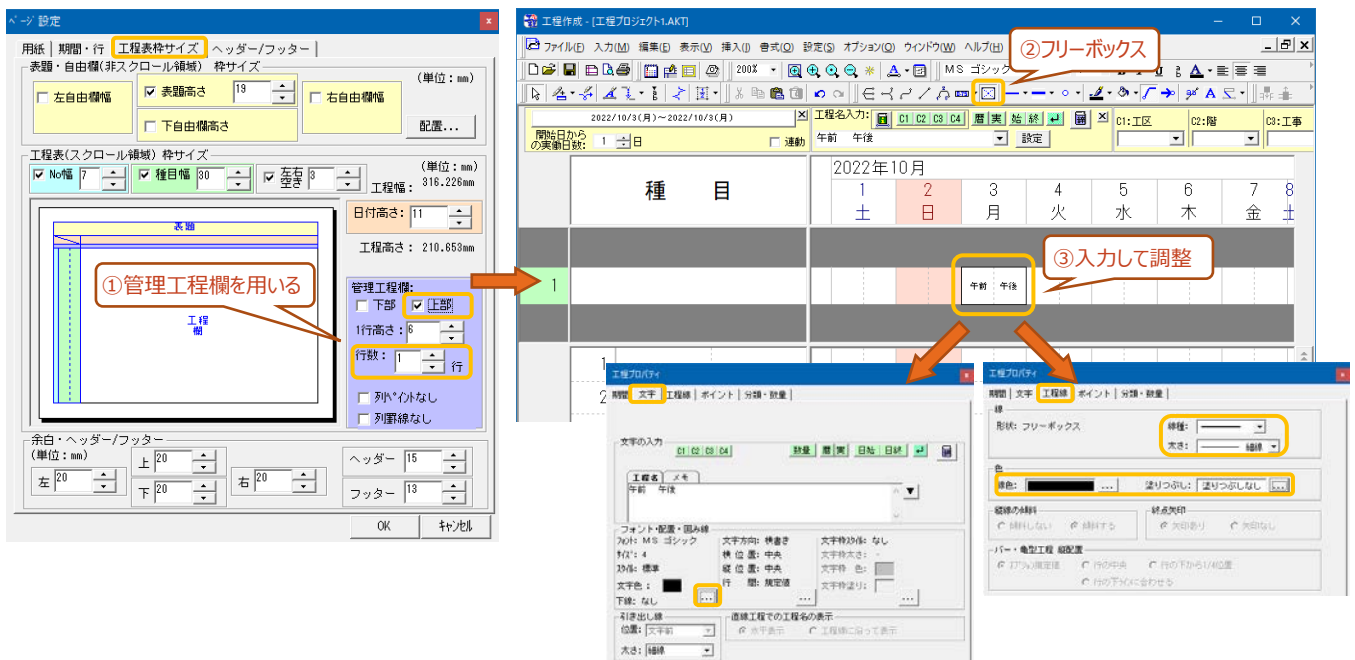
Q31. 日付欄を二等分して半日単位にしたい

Q. 日付欄を縦に二等分して半日単位とし、1 日を午前・午後や昼・夜で分けて工程を作成することはできますか？

A. [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択し、「ページ設定」画面を表示してください。「ページ設定」の[期間・行]タブの「入力グリッド」を「1/2 日」にすると、工程線を引く時のマウス操作が 1 日単位から半日単位になります。続いて[日付欄書式...] ボタンを選択すると、「日付欄書式の設定」画面が表示されるので、「補助線」で「1/2 日」を選択します。これで日付欄を縦に半分にする線が表示されます。画面右下では完成イメージを確認できます。

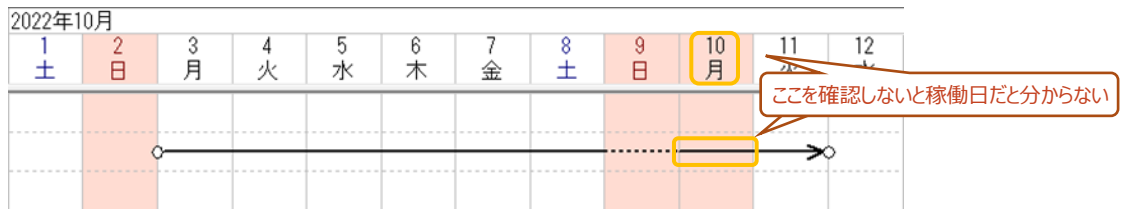


なお、日付の下に午前・午後や昼・夜という文字を表示する機能はありませんが、管理工程欄を用いることで表現することが可能です。「ページ設定」の[工程表枠サイズ]タブで管理工程欄の「上部」のチェックボックスを ON にし、行数を 1 行にしてください。工程入力画面に戻り、管理工程欄にフリーボックスで「午前 午後」や「昼 夜」の文字を入力してください。その後、文字サイズやフリーボックスの線の太さや塗りつぶし等を調整してください。調整は、フリーボックスを選択して右クリックのメニューから[工程プロパティ]を選択し、「工程プロパティ」画面で行います。この時、画面の表示倍率を大きく（200%）して操作すると、印刷時のイメージで調整することができます。調整が終わったら、フリーボックスをコピーして他の日付の下にも貼り付けることで完成となります。

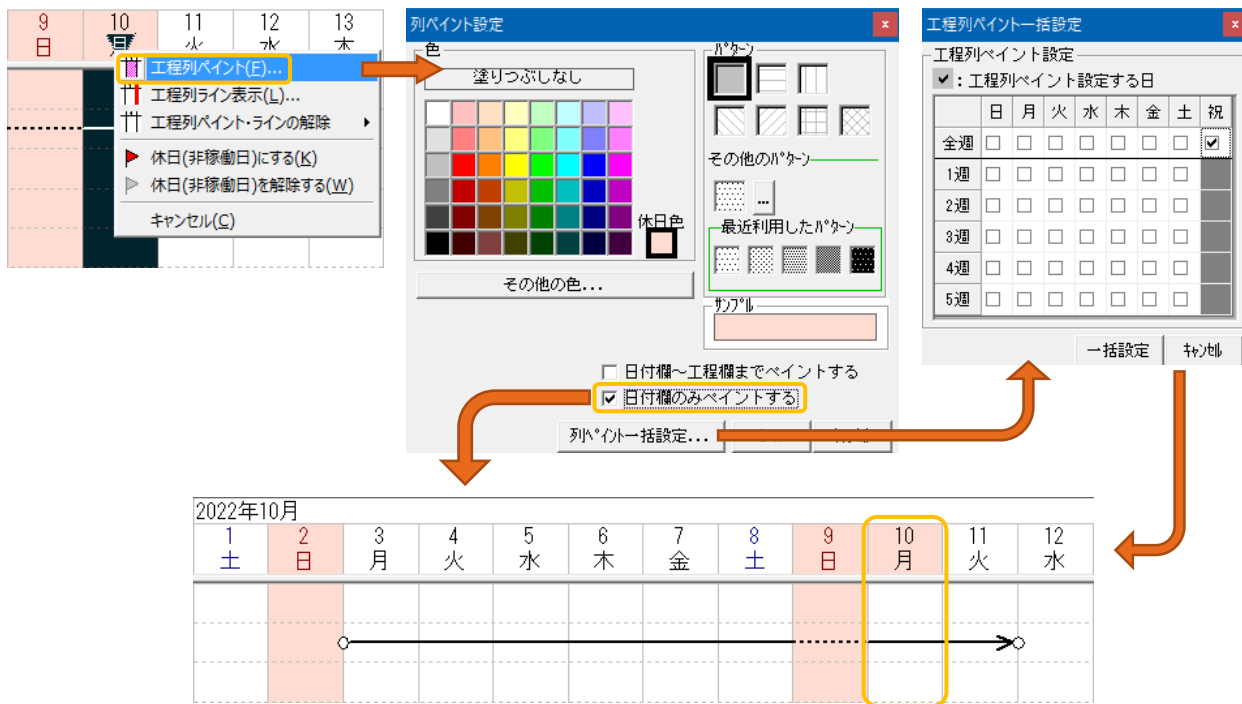


Q32. 日曜日や祝祭日の稼働日を分かり易く表現したい

Q. 日曜日や祝祭日を稼働日にした場合、日付欄の文字が赤から黒になりますが、非稼働日であることが一見では分かりません。工程線を見れば稼働日だと分かりますが、第三者が見た時に一見して稼働日であることが分かるように表現することはできますか？例えば、以下では9日が日曜日で非稼働日、10日が祝祭日で稼働日です。



A. 日付欄で対象の日を選択し、ポップアップメニューから[工程列ペイント(F)...]を選択します。「列ペイント」画面が表示されるので、「日付欄のみペイントする」のチェックボックスをONにすると、以下の例の10日のように工程欄に色が付かなくなり、一見して稼働日だと分かるようになります。なお、まとめて複数箇所を同じ表現としたい場合は、「列ペイント」画面で[列ペイント一括設定...]ボタンを選択することで、一度の操作で設定することも可能です。



その他にも、日曜日や祝祭日の稼働日の色を非稼働日と違う色とし、「列ペイント」画面で「日付欄～工程欄までペイントする」のチェックボックスをONにすることで、以下のように表現（例：日曜日や祝祭日の稼働日をグレー）する方法も有効です。

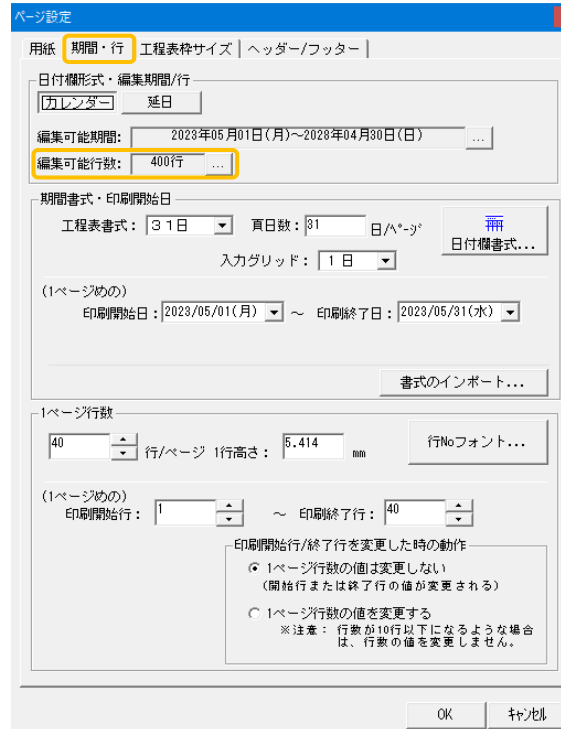


なお、日付欄の文字の色は、稼働日が黒、非稼働日が赤、土曜日が紺で固定されており、変更することはできません。また、日付欄と工程欄に違う色をペイントすることはできません。

Q33. 行数を 400 から増やしたい

Q. 画面に表示される行数が 400 となっていますが、増やすことはできますか？

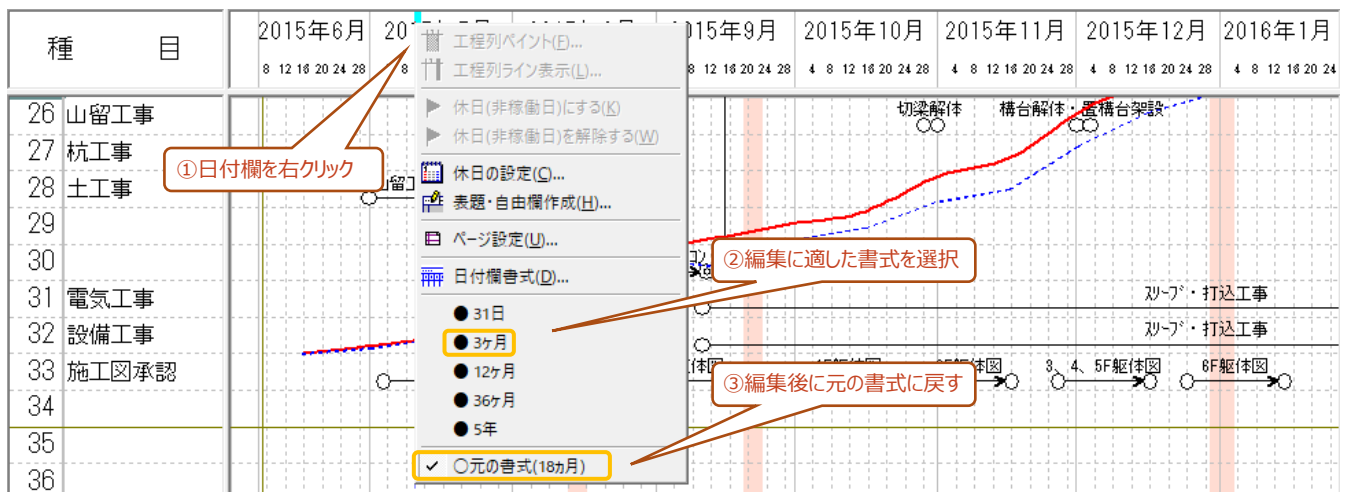
A. [ファイル]メニュー[ページ設定]を選択し、「ページ設定」画面を表示してください。「ページ設定」の[期間・行]タブの「編集可能行数」の右端の「...」を押すと、400~9000 行の範囲で変更することができます。



Q34. 全体工程表の編集時にマウス操作がうまくできない

Q. 全体工程表を 1 日単位で編集したいのですが、拡大率を上げてもマウス操作がうまくできません。何か方法はありますか？

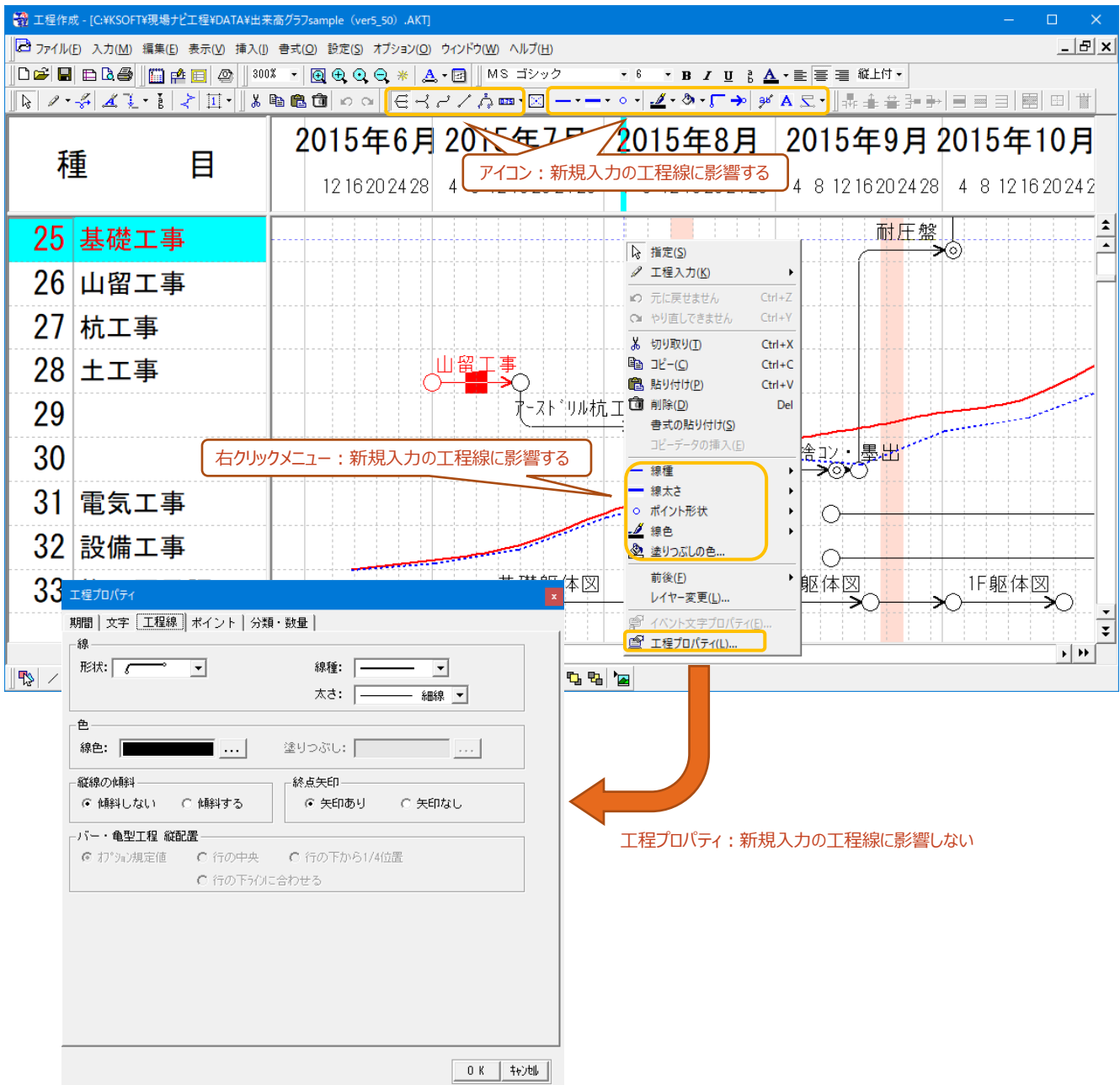
A. 全体工程表で拡大率を上げて編集しようとしても、日付書式が 1 日単位とはならないため、マウスで変更することは難しいです。このような時は、日付欄を右クリックするとメニューから簡単に日付書式を変更することができるので、こちらを利用して 1 日単位の編集に適した書式としてください。例えば、以下はサンプルデータですが、編集を開始する前に、[3ヶ月]を選択し、編集が終わったら、[元の書式(18ヵ月)]を選択する運用を行ってください。



Q35. 既存の工程線の工程形状、線種、色等を変更した場合、それ以降に新規入力する工程線に影響してしまう

Q. 既存の工程線の工程線の工程形状、線種、色等を変更した場合、それ以降に新規入力する工程線に影響してしまいます。例えば、既存の工程線を実線から点線に変更した場合、それ以降に新規入力する工程線が点線になってしまいます。新規作成の工程線に影響させない方法はありませんか？

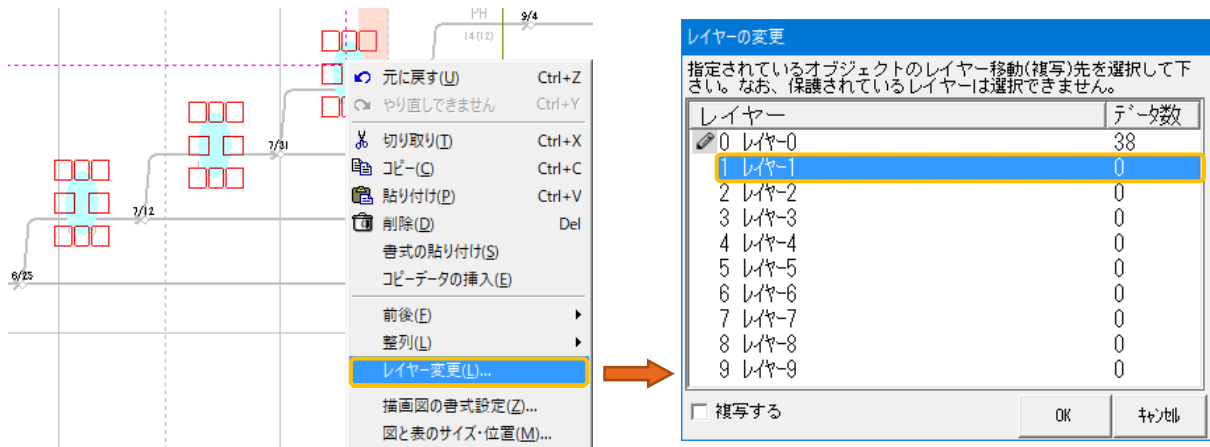
A. 既存の工程線の工程形状、線種、色等を変更する操作は、アイコンで行う方法と「工程プロパティ」画面で行う方法があります。アイコンで変更を行った場合は、それ以降に新規入力する工程線に影響しますが、「工程プロパティ」画面で変更を行った場合は影響しません。工程線を選択してダブルクリックまたは右クリックメニューから「工程プロパティ」画面を開いて変更を行ってください。なお、右クリックメニューの[線種][線太さ][ポイント形状][線色][塗りつぶしの色]は、アイコンと連動しているため、こちらで操作した場合も新規入力する工程線に影響しますので注意してください。



Q36. 描画図を工程線の背面に移動したい NEW

Q. 工程線の上に描画図を複数入力し、描画図を右クリックメニューの[前後]で[最背面へ移動]させました。しかし、印刷プレビューで確認すると工程線の前面に描画図が表示され、工程線が見えなくなってしまいます。なぜでしょうか？

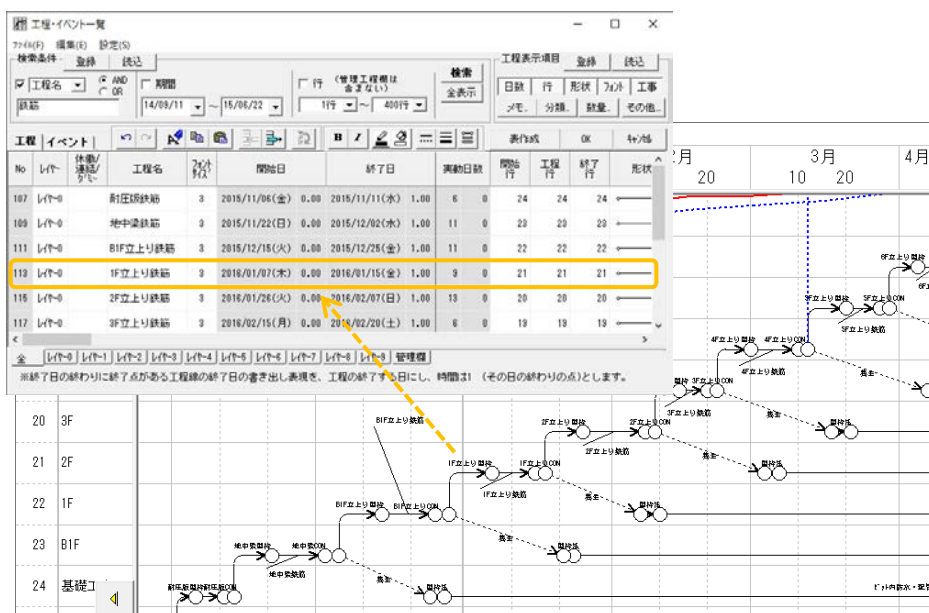
A. 同一レイヤーに描画図と工程線がある場合は、描画図が前面に表示されるルールがあります。また、右クリックメニューの[前後]は、同一レイヤー内の工程線同士の前後関係、描画図同士の前後関係に適用されます。描画図を工程線の背面に移動したい場合は、描画図を選択し、右クリックメニューの[レイヤー変更]で、現在より下のレイヤーに移動させてください。



Q37. 工程名を検索してまとめて編集したい NEW

Q. 複数人で工程表を作成したため、同じ意味の工程名に複数の言葉が混在してしまいました。該当する工程名を検索して、まとめて統一した言葉に編集する方法はありますか？

A. オプションプログラム「現場ナビ工程 + T」を契約いただくと、表形式で工程線やイベントを編集する機能が追加されます。工程名や期間で検索でき、効率的に編集可能です。また、編集対象が多い場合は、一度表画面からデータをコピーして「Excel」に持って行き、置換等の編集を行い、その結果を表画面に貼り付けて編集を反映することができます。また、この方法は既存の工程表の工程名に開始日等の情報を追加したい場面にも有用です。



◆データファイル

Q1. 工程表のデータファイルがなくなってしまった

Q. 「現場ナビ工程」で作業中の工程表のデータファイル（拡張子 AKT）がなくなってしまいました。復活させることはできますか？

A. 「現場ナビ工程」がお客様の作成したデータファイルを削除することは絶対にありません（プログラムをアンインストールしてもデータファイルは残るようになってます）。お客様または他の方が誤って削除されたと考えられます。

一般的なお話しとして、ファイルを誤って削除してしまった場合、そのファイルが作業中の PC のハードディスクにあった場合は、ゴミ箱から復元することができますが、ゴミ箱からも削除してしまった場合や、ネットワークドライブ上にファイルがあった場合、復旧するには、PC に関する高度な知識が必要になってきます。貴社内の PC 関連のシステム担当の方に相談して対処して頂く必要があります。

弊社でサポートできる範疇を超えておりますが、「現場ナビ工程」には、作業中のデータファイルを定期的に自動でバックアップしておく機能があります。その機能でバックアップされている場合、少し前の状態のファイルを取り出せる可能性があるかもしれません。

バックアップに関する詳細は、マニュアル（ヘルプ）の「Ver.5.00 工程表の表現、工程表出力の拡張等」-「拡張-4 その他の拡張」-「4-1 バックアップファイルの読み込み」と「Ver.4.50 サイクル工程表の拡張等」-「拡張-2 その他の拡張」-「2-3 自動バックアップファイルの一時保管」を参照してください。なお、マニュアル（ヘルプ）は、[ヘルプ]メニューの[ヘルプ]から表示することができます。

Q2. PC を交換した場合の工程表や辞書データの移行

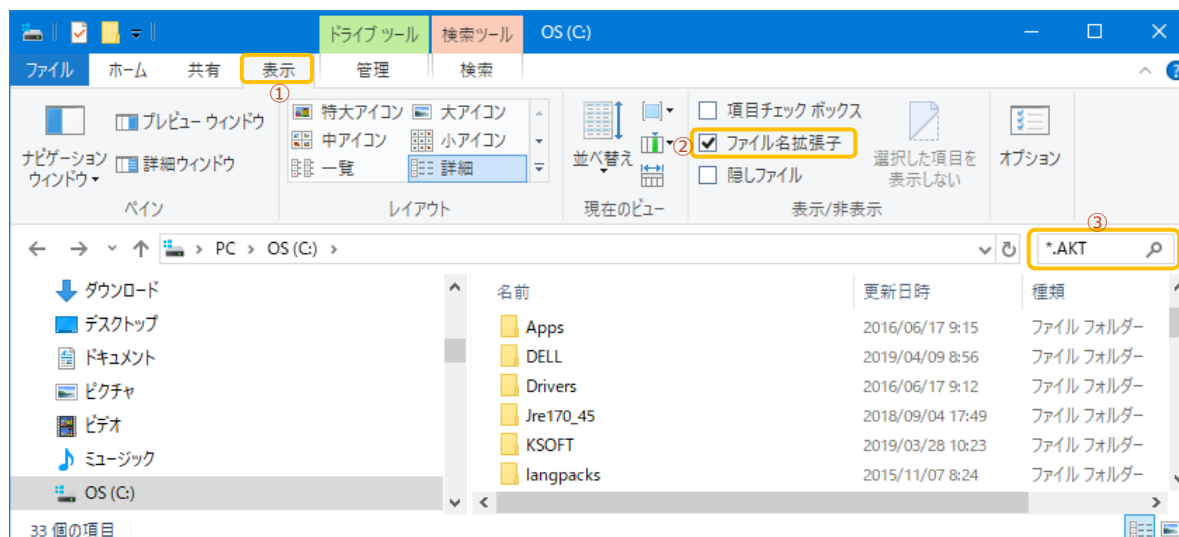
Q. PC を新しく購入しました。「現場ナビ工程」のインストールはできましたが、今まで作成した工程表や辞書のデータの移行はどのように行えばよいでしょうか？

A. 「現場ナビ工程」の工程表のデータファイルは拡張子が AKT、テンプレートファイルは拡張子が AKTT となっています。どちらも任意の場所に保存でき、任意の場所から開くことができるようになっています。ですので、ローカルドライブ（C ドライブや D ドライブ等）に保存していた場合は、USB や SD カード等を用いて、古い PC の保存場所から新しい PC の任意の場所にコピーしてください。ネットワークドライブに保存していた場合は特に移行の操作は必要ありません。

もし、どこに保存したか分からなくなった場合は、「エクスプローラー」の検索機能を使い、拡張子で検索を行ってください。

なお、辞書（文字登録リストと入力文字履歴）のデータは、インストールドライブの下の DIC というフォルダ（例：C:\%ksoft%\現場ナビ工程\DIC）に保存されており、文字登録リストの拡張子が CSV、入力文字履歴の拡張子が TXT となっています。USB や SD カード等を用いて、古い PC の DIC フォルダから新しい PC の DIC フォルダにコピーしてください。

なお、「エクスプローラー」での拡張子の表示や検索の方法については、弊社でサポートできる範囲ではありませんが、以下の図を参考にしてください。



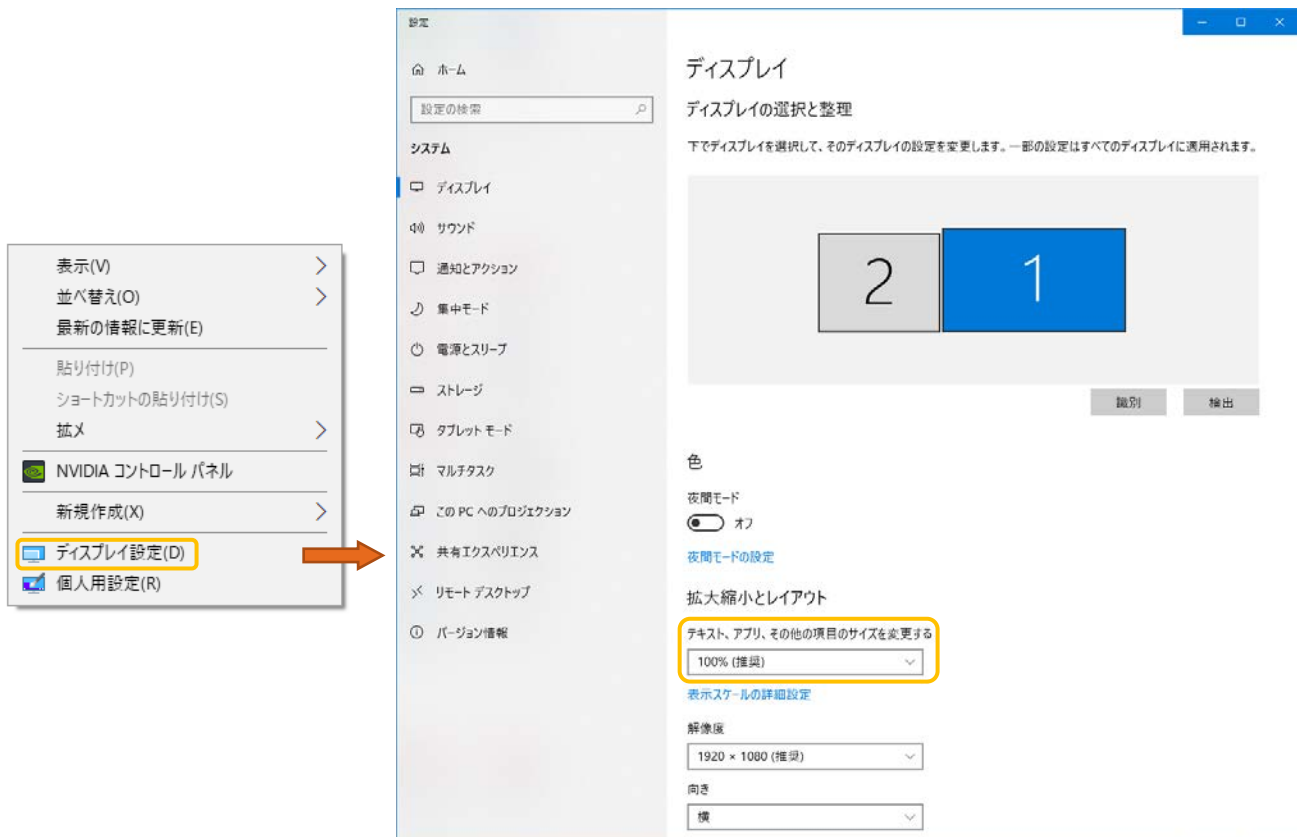
Q3. ネットワーク上の工程表のデータファイルが開けない

- Q. ネットワーク上に保存した「現場ナビ工程」で作業中の工程表のデータファイル（拡張子 AKT）が開けません。自分の PC（デスクトップ等）にコピーすると開くことができます。なぜでしょうか？
- A. ネットワーク上のパスのフォルダ名とファイル名の長さが、Windows の制限を超えていることが原因です。パス（フォルダ名）の長さは 248 文字未満、パスとファイル名の長さの合計が 260 文字未満である必要があります。ネットワーク上のパスを短くするか、制限を超えていない別のフォルダにコピーする等して回避してください。

◆その他

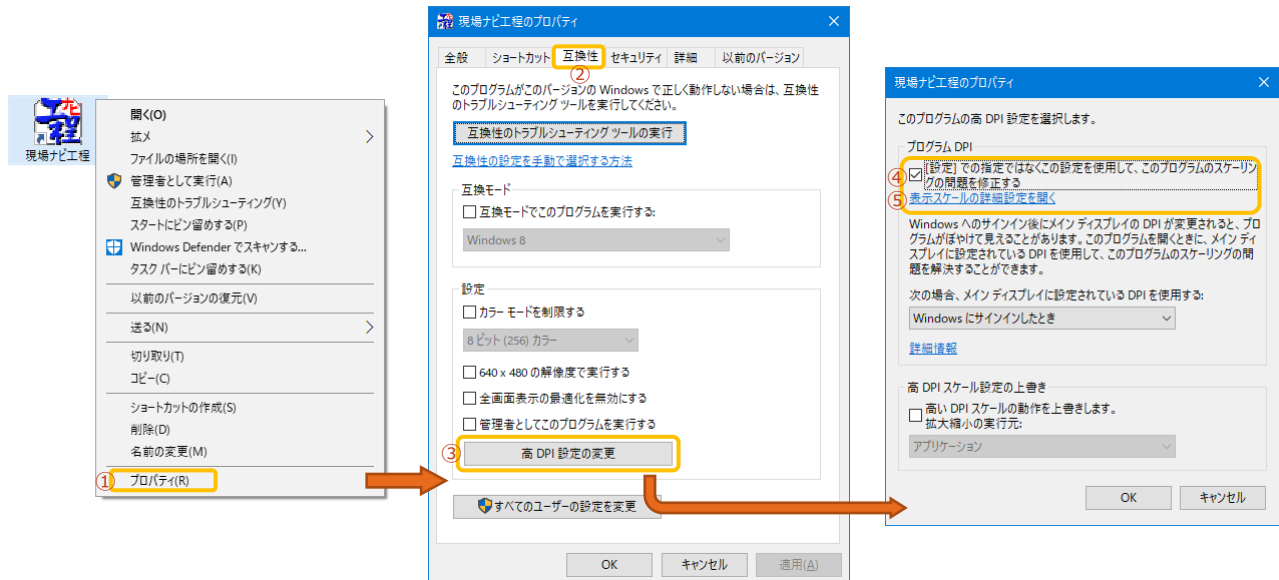
Q1. 画面がぼやけ気味に表示される

- Q. PC を新しく購入したところ、「現場ナビ工程」を起動すると、画面が全体的にぼやけ気味に表示されるようになってしまいました。
- A. Windows によるディスプレイの解像度と拡大縮小のレイアウトの設定によるためです。デスクトップで右クリックし、メニューから[ディスプレイ設定]を選択して、「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」を「100%（推奨）」にしてください。

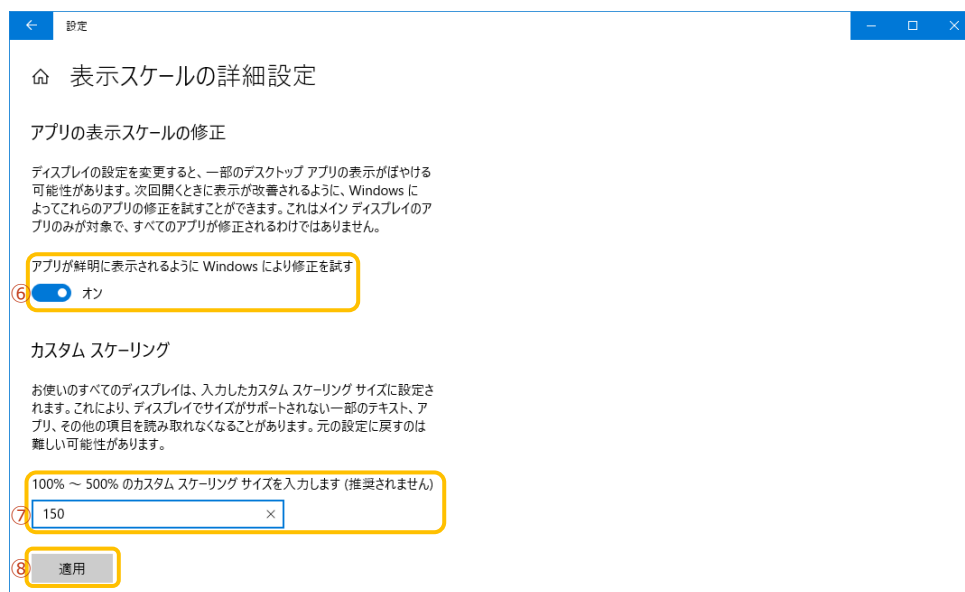


ディスプレイが 4K 等の高解像度の場合、「100%（推奨）」にすると、全体的にかなり小さく表示されるようになり、PC の操作に支障が出てくる場合があります。このような場合は、Windows の設定を変更し、以下の方法で回避してください。

「現場ナビ工程」（または「現場ナビ工程+ T」）の起動アイコンを右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。以下の中央の画面が表示されるので[互換性]タブで[高 DPI 設定の変更]ボタンを押します。次に、以下の右側の画面が表示されるので、「プログラム DPI」の「[設定]での指定ではなくこの設定を使用して、このプログラムのスケーリングの問題を修正する」にチェックを入れて、[表示スケールの詳細設定を開く]をクリックします。



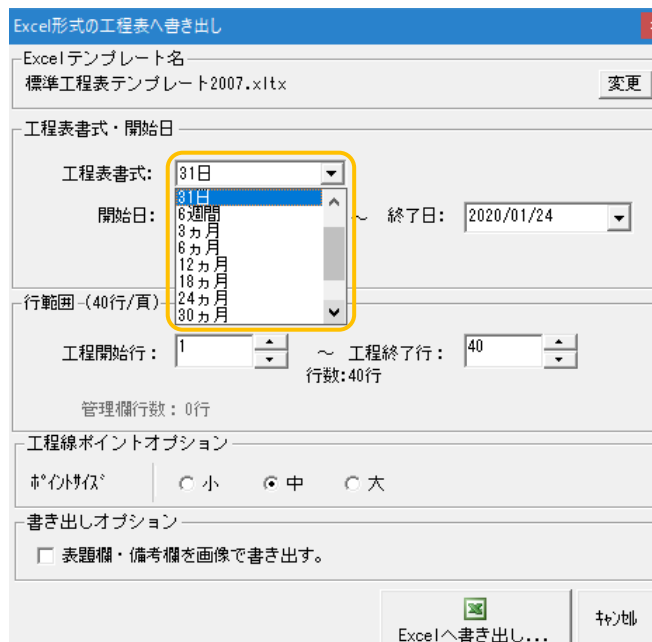
以下の画面が表示されるので、「アプリの表示スケールの修正」で「アプリが鮮明に表示されるように Windows により修正を試す」をオンにし、カスタムスケーリングに 120 や 150 といった拡大倍率を入力して、[適用]ボタンを押します。



設定終了後、「現場ナビ工程」を起動してください。

Q2. Excel 形式の工程表の書き出しを任意の期間で行いたい

Q. [ファイル]メニューの[エクスポート]から[Excel 形式の工程表の書き出し]を行う時に、「工程表書式」の選択肢に希望の期間がありません。任意の期間とすることはできますか？



A. 「工程表書式」の選択肢にある期間のみの対応となります。選択肢に希望の期間がない場合は、選択肢の中から希望期間より長く一番近いものを選び（例：期間を2カ月にしたい場合は3カ月を選択、期間を4～5カ月にしたい場合は6カ月を選択、期間を7～11カ月にしたい場合は12カ月を選択）、出力した後、Excelで不要部分を削除してください。

Q3. スクロールバーの矢印のアイコンとつまみが表示されなくなった

Q. ある日突然、「現場ナビ工程」のスクロールバーにある矢印のアイコン   とつまみ  が表示されなくなっていました。

A. Windows10 バージョン 1909 において、日本時間 2021 年 4 月 14 日に配布されましたアップデート（WindowsUpdate）を反映させると、更新プログラムの不具合の影響により、ご指摘の現象が発生する場合があります。以下の方法で現象を回避することができます。お客様の社内のシステム担当者にご相談の上、この Q&A をご一読頂き、回避をお願い致します。

1. 現在の Windows10 の最新版は、バージョン 21H1 となっています。バージョン 1909 は二世世代前の OS となっており、マイクロソフト社によるサポートは 2021 年 5 月 11 日までとなっています。OS の更新が可能な場合は、WindowsUpdate でバージョン 21H1 または 20H2 へアップデートを行ってください。アップデートの方法は、[マイクロソフト社のホームページ](#)をご参照ください。なお、アップデートには、非常に時間がかかりますので、ご注意の上、作業を進めてください。
2. お客様の社内のセキュリティポリシーや運用により、アップデートが直ぐに行えない場合は、日本時間 2021 年 4 月 14 日に配布されました「Microsoft Windows(KB5001337)のセキュリティ更新プログラム」をアンインストールしてください。アンインストールの方法は、[マイクロソフト社のホームページ](#)をご参照ください。
3. 上記 1.および 2.のどちらの対応も難しい場合は、マウスのセンターホイールを長押しして、画面をスクロールさせる運用で回避をお願いします。なお、上記 1.の繰り返しとなりますが、マイクロソフト社による Windows10 バージョン 1909 のサポートは 2021 年 5 月 11 日までとなっています。バージョン 21H1 または 20H2 へのアップデートを行うことを推奨いたします。

Q4. Windows11 の対応状況

Q. Windows11 に対応していますか？

A. 対応しています。[弊社ホームページの最新版ダウンロード](#)から最新版バージョンをインストールしてご利用ください。